

長谷川仏教文化研究所年報 第39号 抜刷
2015年 3 月25日発行

Gopāla 著 Kṛtyakāmadhenu の貝葉写本（上）

古 宇 田 亮 修

〈個人研究〉

Gopāla 著 Kṛtyakāmadhenu の貝葉写本（上）

古 宇 田 亮 修

はじめに

Dharmaśāstra 『ダルマに関する教典』の歴史は、Baudhāyana-dharmasūtra, Āpastamba-dharmasūtra, Gautama-dharmasūtra, Vasiṣṭha-dharmasūtra といった sūtra 体で著された Dharmasūtra から始まるが、その後、著された韻文の Smṛti, すなわち Manu-smṛti, Yājñavalkya-smṛti を代表とする文献群は、Mahābhārata, Rāmāyaṇa や多数の Purāṇa 文献とともにヒンドゥー教を構成する重要聖典に位置づけられるものである。

この分野の基盤的研究としては、Pandurang Vaman Kane による *History of Dharmaśāstra*, 5 vols in 8 parts, 1930-1962. (以下 Kane HDh. と省略) が、出版後半世紀以上経過した現在でも、最も詳細かつ包括的なものである。同書で詳しく述べられる Dharmaśāstra はおよそ 100 点になるが、中には散逸して他書における引用としてしか現存しないものも含まれている。

筆者は、2010 年に日本の古書店より、全 50 葉の貝葉に著されたサンスクリット写本を入手した。その奥書から判断すると、当写本は [Kane HD.: I, 2, 616-622] no.72. Kāmadhenu に相当する文献（当写本の示唆する題名は Kṛtyakāmadhenu）の一部（Śrāddha（祖霊祭）に関する章）であると考えられるが、これも Kane が HD. を執筆した時点では、他書における引用を除き写本は未発見とされている¹

¹ その後、当該写本が他所より発見されたか否かについては、インドや他国で発刊されている多数の研究誌を精査した訳ではないので不詳であるが、万一、重複したとしても別写本であれば公表する価値はあると判断した。[NCC.: III, 350]を見る限り、1967 年時点では

(2)

ので、Dharmaśāstra の歴史を解明するための一次資料として、ここに前半部分のスキニング画像を公開する次第である。

1. 写本の外形

サイズは、縦 5.5cm, 横 61cm, 全体の厚さ 1.5cm である。素材は、貝葉である。葉数は、全 50 葉、そのうち全く記載のない貝葉が 2 葉あるので、実質は、48 葉である。48 葉全てに葉番号が記載されており、2 から始まり、49 まで存在するので、冒頭の 1 葉が欠損していることになる。

経年劣化により、貝葉の端の一部に欠けが見られる (ff. 2-5)。また、貝葉の部分的収縮により歪みも見られる (f. 25)。

本稿では、紙面の都合上、全 48 葉のうちの前半 (ff. 2-25) の写真を掲載することにする。なお、1 葉を左右の綴じ穴箇所を 3 つに分けて掲載したので、コピーの上、糊づけする手間を厭わなければ、元の形態を復元することが可能である。縮尺は原寸の約 62% であるから、161% に拡大すれば、ほぼ元の大きさになる。

2. 奥書について

まず最初に、第 49 葉 3 行目の途中から書かれている奥書部分の Romanized Text ならびに試訳を以下に記しておく。

Romanized Text

(49r.3) ~ iti bhaṭṭaśrībhaṃgādityātmaśrīgopālavi⁽⁴⁾racitāyām kṛtya-kāmadhenavādye² dharmapāde tṛtīyaḥ śrāddhāṃśaḥ samāptaḥ //  // om vyāpto yaṃ yena śailau cchaladamalajalaiḥ sāgarās tais taḍāgaiḥ rathāgārair dvijātām diśi-diśi vasudhār vāmagaurīr dharitrīpūrṇaṃ ca ○ śrotriyāṇām bhavanam aviratoddāmavarṣair vasūnām gopālaḥ sarvadānāśrayam akṛtakṛtīn saptam aṃśonsam eta⁽⁵⁾n* //  //  // tatra dānavidhiḥ / dānasvarūpaṃ

写本の存在は報告されていない。

² Read °dhenvādye.

pātralakṣaṇam // ॐ // saṃvat 1209 āṣāḍha vadi 12 śanau śrī○madvārāṇasyām
 śrīmadgovindacandraadevakalyāṇavijayarājye // ॐ // ॐ // om namo
 bhagavate vāsudevā○ya // ॐ // yādṛṣam pustakam dṛṣtvā tādṛṣam likhitam
 mayā / yadi śuddham aśuddham vā mama doṣo na dīyate // ॐ // ॐ //

（試訳）

「以上で、バッタ・シュリー・バンガ・アーディティヤの子孫である聖ゴー
 パーラによって作られたクリティヤ・カーマデーヌ『義務の如意牛』の冒
 頭のダルマ^{バーダ}巻における第三の祖霊祭部分が完結した。オーン。（以下1文
 解読不能につき、翻訳省略）そのうち、布施の儀軌，[即ち] 布施の自性，
 祭具の特相が [述べられた]。

1209 年，アーシャーダ月，黒分，12 日目，土曜。聖なるヴァーラーナ
 シーの聖なるゴーヴィンダ・チャンドラ^{デーヴァ}王の素晴らしい王国にて。福
 あるヴァースデーヴァに，オーン。私は，[原] 本を見たままに書写した。
 正誤については私の過失ではない。オーン。」

この奥書によれば，書写の場所は，Vārāṇasī である。また，1209 年という年
 代は Vikrama samvat と考えられるので，上記の日付は，矢野道雄・伏見誠両氏
 の手に成るインド暦計算プログラム Pancanga³ によれば，紀元後 1152 年 7 月 1
 日，火曜日に相当するようである。しかしながら，一般に Sanskrit 写本の年代確
 定に際して，奥書のみを典拠とすることは危険を伴う。奥書ごとと筆記者によっ
 て転写される可能性があるからである。理想的には，放射性炭素（炭素 14）の
 測定により，ある程度の範囲にまで貝葉の製作年代を限定し得るので，当写本
 のように写本現物に触れられる場合は，外部研究機関に委託する費用の問題さ
 えクリアできるならば，それを実施することが望ましい。

³ Pancanga: version 3.14 (<http://www.cc.kvoto-su.ac.in/~vanom/nancanga/>).

3. Govindacandra 王とその時代の書体について

[小谷汪之 2007: 31-32] の記述によれば、「プラティーハール朝が衰滅していく十一世紀前半から後半にかけて、ヴァーラーナシーからドアーブ地方（ガンジス・ジャムナー両河間の地方）は、ガズナ朝やパラマール朝の侵攻を受けたり、また一部はカラチュリ朝の統治下に入っていたりして混乱していたが、おそらく 1080 年代前半に、ガーハダヴァーラ族のチャンドラデーヴァがカナウジを攻略して都とし、この地方一帯の政治的統合をはたした」とされるが、この Gāhaḍavāla 朝で、Candradeva 王の後 Madanapāla 王を経て、王権を継承したのが、Govindacandra 王である。Govindacandra は、Candradeva の孫に当たる。Govindacandra が王位に就いた時期は、Madanapāla 王の最後の碑文が残された 1109 年から Govindacandra 王の最初の碑文が現れる 1114 年の間と考えられる [Niyogi 1959: 65]。そして彼が残した最後の碑文は 1154 年であるから、少なくとも 40 年にわたり王位にあったことが解る [Niyogi 1959: 90]。

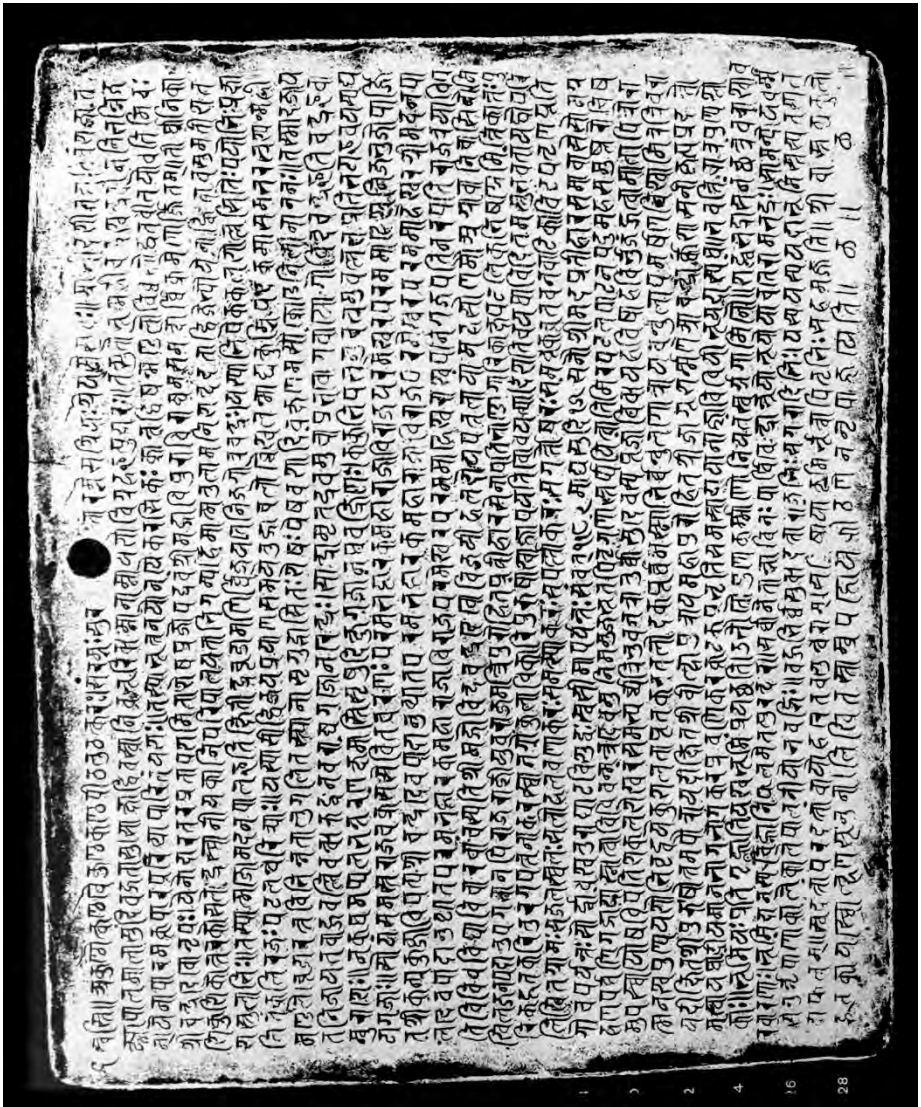
Govindacandra 王に関する銅板銘文は、[Hultzsch EI.: IV, 99-120] に掲載されている⁴が、同書 pp. 100-101 の間に収録されている銅板の拓本（Vikrama samvat 1182）は、この時代の書体を知る上で有益である。当写本との比較のため、拓本の色を反転した画像を次頁に掲載しておいた。両者の比較において、筆者が特に注目した類似点は以下の 3 点である⁵。

- ① この時代の文字の特徴を示す bha, sa, ja の字形
- ② pa と ya の微妙な相違,
- ③ 末尾に記される cha の文字に似た吉祥紋章（当写本 : 銅版 ）,

このように書体を比較するかぎりでは、当写本の奥付は転写ではなく、実際に「紀元後 1152 年 7 月 1 日」に書かれた可能性も十分にあり得るものと考えられる。

⁴ 近年、下記の両研究が出版されたようであるが現時点では未見である。T.P. Verma & A.K. Singh: *Inscriptions of The Gāhaḍavālas and Their Times*, 2 vols, 2010. A. K. Dubey: *Culture Under the Gāhaḍavālas: Epigraphical Studies*, 2012.

⁵ Nāgarī 書体の変遷については、[Singh 1991] が同時代の多数の書体を一覧表にしているので有益である。



Kamauli Plate of Govindacandra, Vikrama samvat 1182. (black-and-white inverted image)

from E. Hultzsch (ed.): *Epigraphia Indica and Record of the Archeological Survey of India*, vol. IV, 1896-97, Calcutta, pp. 100-101.

当写本の書体は、北インドで一般的な Nāgarī (／Devanāgarī) と呼ばれる書体である。但し、第 49 葉の裏面に、目次のような書込みがあり、その部分の書体は、Nepal で使われていた書体の特徴を示している。それゆえ当該箇所は、当写本が Nepal に持ち込まれた後に記載された可能性が高いものと思われる。

また、欄外註のうち、本文の筆記者によるもの (5v. right) と推測されるものの他に、Nepal 系の書体での欄外註 (例 : 8r. left, middle, 16r. right, 17r. middle, 19v. left, middle, right, 20r. middle, right, 20v. left) があり、これらは Nepal において記載されたと考えるのが妥当である。

4. Kṛtyakāmadhenu とその著者 Gopāla に関する従来の研究

[Kane HDh.: I, 616-622] では、当写本が示唆する書名 Kṛtyakāmadhenu でなく、Kāmadhenu という名で言及されている。それによれば、当該写本は見つかっていないが、他の Dharmaśāstra での言及・引用から、その存在が知られるという。具体的には、Lakṣmīdhara 著 Kṛtyakalpataru (Brahmacārikāṇḍa), Śrīdharācārya 著 Smṛtyarthasāra, Aniruddhabhaṭṭa 著 Hāralatā, Caṇḍeśvara 著 Vivādaratnākara, 同 Rājanīratnākara といった書物において言及されているという。Kāmadhenu の作者の名前については、それらの Dharmaśāstra に明確に述べられているわけではないが、Kane は種々の状況証拠から、Aufrecht が掲げる Śambhu 説を批判して、Gopāla であると主張している。当写本の奥書により、Kane の主張が裏づけられたことになる。

なお、Gopāla の年代について、[Kane HDh.: I, 622] は、上記の他書との関係から紀元後 1000-1100 年の間に置いている。

5. Lakṣmīdhara 著 Kṛtyakalpataru に言及される Kāmadhenu

Lakṣmīdhara 著 Kṛtyakalpataru の冒頭の章である Brahmacārikāṇḍa の序文部分 (第 10-12 偈) において、Gopāla と Kāmadhenu が登場する。まず、その箇所の Romanized Text と試訳を以下に掲げる。

Kṛtyakalpataru: Brahmacārikāṇḍa (p. 3)

pauraṇir eva vāṇīḥ kvacid akṛtakṛtau kvāpi bhūyaḥ smṛtīnām
 gopālas tadvayasyaḥ svakṛtīviracanaṁ vākyarūpeṇa cakre /
 śrautasīmārtādisāir vibudhajanamanohāri kārīṣyate 'yaṁ
 mīmāṃsottāṃsitārthair aprthur atha kathāṭitarandhraḥ prabandhaḥ // 10 //
 yasyotthitau sthitimatī na mahārṇave śrīḥ
 nidrāṁ dadhāti yad adhaḥ kila kāmādhenuḥ /
 tasyātaniṣyati ratīm vibudhadvijānām
 ānandanaḥ kim u na kalpataroḥ praroḥaḥ // 11 //
 kā cintaiva mahārṇavānusaṛaṇe kā kāmādhenuṣpṛhā
 kṣudrāḥ kasya paṛisphuranti hṛdaye te ratnamālādayaḥ /
 śrīlakṣmīdharabuddhivaibhavasudhāsekāprabhāvād ayaṁ
 yenāntaiva jagatrayopakṛtaye kalpadrumaḥ kalpate // 12 //

（試訳）

「10. 彼（＝Lakṣmīdhara）と年代を同じくするゴーパラーは、自作の編著を、ある部分ではプラーナの文句を入れ、またある部分では^{スムリテイ}伝承聖典の文句を入れ、かつて作られたことのない作品として、文章の形に整えた。

語り口によって欠陥を克服したこの簡潔なる⁶書物（＝Kṛtyakalpataru）は、学習聖典・伝承聖典等の精髓および^{ミーマンサー}祭義学を宝冠とする意味によって、賢者たちの心を魅了するものを作り出すであろう。

11. 彼（＝Lakṣmīdhara）が起床したとき、^{マハールナヴァ}『大海』において永遠なるシュリーは存在しない。^{カーマデーヌ}『如意牛』は彼の下で眠りにについている。

彼の^{カルパタル}『如意樹』の喜ばしい成長が、賢いバラモンたちの歓喜を増大させないようなことがどうしてあるだろうか？

12. ^{マハールナヴァ}『大海』を追い求めるいかなる心があるろうか？ ^{カーマデーヌ}『如意牛』へのいかなる欲望があるろうか？ ^{ラトナ・マラー}『連宝珠』等の劣ったものが、いかなる人

⁶ 「簡潔なる（aprthu-）」と述べているが、実際には大部の書物である。種々の Smṛti からの引用により長くなっているものであって、自説を述べている箇所は簡潔であるということの意味しているのか。やや疑問が残る。

の心において躍動するであろうか？

聖なるラクシュミーダラの知性の偉大さという甘露^{スダー}の逆^{ほとぼし}りの出現により、この『如意樹^{カルバタル}』は、三界の生き物の手助けとなるのである。」

この偈文に現れる『大海 (Mahārṇava-)』や『連宝珠 (Ratnamālā-)』といった書物も、『如意牛 (Kāmadhenu-)』と同様に Gopāla の作品であるか否か、確言することはできないが、当時、それらは一般に流布していた書物であったような書きぶりである。

[Niyogi 1959: 84] によれば、この著者 Lakṣmīdhara はたんに学者であるだけでなく、「千人の敵を殺した」武将であり、大臣としても活躍したことにより、Govindacandra 王により、Kṛtyakalpataru の執筆を依頼されたと自ら述べているという。Lakṣmīdhara 自身の語るところによると、父は Bhaṭṭa Hṛdayadhara であり、自身のことを Govindacandra 王に仕える [Mahā-]Śāṃdhivigrahika 「(偉大な) 外務大臣」⁷であったと称している。[Kane HDh.: I, 691] は、Lakṣmīdhara が、Govindacandra 王の下で武将となったのが 1115 年頃であったとすれば、10 年か 15 年を経た 1125 年もしくは 1130 年頃に、Kṛtyakalpataru の執筆・編纂に着手したと推測する。

[Kane HDh.: I, 691] も指摘しているように、Lakṣmīdhara は、自己中心のかつ傲慢な人物であったことが上記の序文からも解る。Lakṣmīdhara は、Kāmadhenu の書名を挙げて引用することは一度もない。しかし、Kane が推測するように、Kāmadhenu の名を本文で使わないのは、実はその書籍からの無断借用を行なっているからなのではないか、という疑問は残る。

今後は、当写本と Kṛtyakalpataru: Śrāddhakāṇḍa を比較することにより、一つの章とはいえ、その疑問を解決する手がかりを得ることができよう。本書の構成および他書 (Kṛtyakalpataru 等) との比較は、全葉の公開が済んだ次稿以降の課題としたい。

⁷ 字義は「同盟 (saṃdhi-) と離反 (vigraha-) に携わる者」であり、他国と同盟するか、離反して戦うかを決定する大臣を指す。

また、そもそも Kṛtyakalpataru という書名自体、Kṛtyakāmadhenu から着想を得て（もしくはその名声に対抗して）命名したと考えることは自然である。当写本が奥付において、Kāmadhenu ではなく Kṛtyakāmadhenu と称していることは、そのことの傍証となろう。

6. Kṛtyakāmadhenu (Śraddha 章) における引用

Kṛtyakāmadhenu は、この時代（11 世紀）の Dharmaśāstra の特徴として、諸々の文献の引用から成っている。筆者の雑駁な調査でも、二大叙事詩 (Mahābhārata, Rāmāyaṇa) はもとより、6 種の Dharmasūtra, 23 種の Smṛti 類, 6 種の Gṛhyasūtra, 13 種の Purāṇa の引用があることが解った。精密な調査により、さらなる引用の発見が期待されよう。また、現存する Text との比較対照も今後の課題である。これらの引用の中には、完本が現存しないものも含まれている。その意味で、当写本がそれらの復元にも役立つ可能性を秘めているといえる。

Epic

Mahābhārata	6v.3; 9r.3; 10v.1; 15v.2; 16r.2; 18v.1; 20r.1; 36v.1; 37v.4
Rāmāyaṇa	42r.3

Dharmasūtra

Āpastamba-dharmasūtra	4v.4; 6v.1; 9v.1; 13r.5; 17v.4; 18r.1; 27r.3; 30r.4; 44v.5
Gautama-dharmasūtra	4v.3; 11v.3; 14r.3; 19v.1; 45r.3
Baudhāyana-dharmasūtra	22r.1; 26v.1; 30v.2; 40r.3
Vasiṣṭha-dharmasūtra	4v.3; 5v.2; 11v.2; 12v.2; 13r.5; 15v.2; 19v.2; 30r.3
Hārīta-dharmasūtra	4v.3; 6r.5; 9v.1; 10r.4; 10r.5; 10v.3; 13r.5; 14r.2; 15r.3; 18r.1; 18r.3; 18v.3; 19r.1; 20r.2; 20v.1; 21r.1; 28v.4; 29r.2; 30v.2; 32r.5; 38v.5; 39v.1; 42r.5; 43v.1; 44r.5
Laghu-hārīta	8v.3; 38v.1; 42v.1; 43r.1; 44v.2; 45r.1; 45v.2; 46r.5

Smṛti, etc.

Uśanas	12v.3; 13v.2; 17v.4; 21r.5; 38r.5; 42v.1; 44r.2
R̥ṣyaśṛṅga	8r.3; 21r.4; 45r.1
Kātyāyana	9v.1; 14r.3; 17r.2 (twice); 18r.2; 20v.5; 22r.3; 22v.4; 26r.1; 30v.2; 31v.1; 39r.3; 40r.1; 40v.1; 46r.5; 48r.1
Kārṣṇājini	20v.1; 35r.3
Chāgaleya	30v.1
Jābāla	43r.2
Devala	6r.1; 12v.1; 14v.1; 16r.4; 17r.1; 17r.2; 18r.3; 19r.1; 19v.5; 20r.2; 20v.2; 21r.3; 22v.4; 28v.1; 29v.3; 29v.5; 33r.3; 35r.4; 42r.4
Nārada	16v.5; 39v.2
Paithīnasi	9r.5; 28v.3; 40r.3; 45v.3
Pracetas	39v.5; 44v.5
Bṛhaspati	2r.2; 8r.4; 11r.5; 17r.1; 19v.2; 20r.3; 32r.3; 36v.4; 41r.1; 45r.2
Manu	4r.4; 4v.4; 7v.5; 8r.4; 8v.4; 8v.5; 9r.2; 9v.2; 11r.2; 11v.1; 11v.5; 13v.3; 15r.3; 16r.5; 17v.3; 18r.2; 19v.3; 20r.3; 20r.5; 20v.5; 21r.1; 28r.1; 28r.3; 28v.1; 29v.2; 30r.4; 30r.5; 30v.2; 33r.1; 33v.5; 34r.1; 36v.5; 38v.2; 39v.5; 41v.3
Marīci	6r.5; 39v.3; 45r.2
Yama	4r.2; 4r.4; 9r.3; 9v.2; 11r.5; 13v.1; 14r.5; 14v.5; 17v.2; 18r.1; 18r.3; 18r.5; 18v.3; 19r.1; 19r.4; 20r.1; 27r.1; 28r.2; 28v.4; 29v.4; 30r.1; 30v.1; 32r.1; 35v.4; 36v.3; 40r.3; 40r.4 (twice)
Yājñavalkya	4r.5; 7r.3; 11v.2; 11v.3; 14r.5; 19r.5; 22r.1; 26r.1; 29r.2; 29v.1; 35v.3; 35v.4; 42r.5
Laghu-yama	29v.1
Logākṣi	16r.5
Viṣṇu	4r.3; 4v.1; 5v.1; 7r.1; 9r.4; 10v.4; 12v.3; 15r.3; 20v.3; 21r.5; 23r.2; 24r.4; 28v.1; 28v.3; 29r.1; 29r.3; 38v.3; 40v.3; 42v.4; 45v.4
Vṛddha-śātātapa	28v.4; 29v.5; 44r.1z
Vyāghra	40r.5

Śaṅkha	9v.2; 10r.5; 12v.1; 15r.2; 24r.5; 35r.5; 40r.5; 44v.4; 45r.3; 45v.3
Śaṅkha-Likhita	12v.2; 14r.3; 15r.3; 17v.2; 22r.5; 29v.3; 39v.5
Śātātapa	4v.2; 6r.3; 8r.4; 11v.1; 20v.4; 30r.3; 35v.1; 37v.5; 40v.1; 42v.3; 44r.4; 44r.5

Nigama	8v.5; 9r.2; 39r.2
---------------	-------------------

Gṛhyasūtra

Āśvalāyana-gṛhyasūtra	19v.1; 22v.1
Āśvalāyana-gṛhyapariśiṣṭa	40v.3
Gobhila-gṛhyasūtra	18v.4; 40v.3
Pāraskara-gṛhyasūtra	42r.5
Vaijavāpa-gṛhyasūtra	23r.1; 43r.3
Śāṅkhāyana-gṛhyasūtra	39r.1

Pariśiṣṭa

Chāndoga-pariśiṣṭa	22v.4
--------------------	-------

Purāṇa

Ādi-purāṇa	35r.3
Āditya-purāṇa	10r.1
Devī-purāṇa	7v.4
Padma-purāṇa	5v.1
Brahma-purāṇa	4r.4; 4v.5; 5r.3; 5r.5; 5v.4; 6r.4; 11r.1; 18v.2; 18v.4; 19v.3; 20r.2; 21v.4; 23v.1; 24v.1; 24v.2; 25v.5; 27r.4; 29r.1; 29r.4; 30r.4; 34r.5; 35r.1; 35r.5; 36r.2; 36v.2; 40r.2; 47v.3; 48r.4
Brahmāṇḍa-purāṇa	4v.5
Bhaviṣya-purāṇa	5r.2
Matsya-purāṇa	2v.1; 5v.3; 8r.1; 8v.4; 10v.5; 16r.3; 19r.3; 22r.2; 27v.5; 28r.1; 30v.4; 35r.3; 35v.2; 35v.5; 36r.4; 38r.4; 40r.5; 40v.2; 46r.1

Mārkaṇḍeya-purāṇa	10v.4; 17v.5; 35r.2; 45v.1; 46r.5
Varāha-purāṇa	41r.2
Vāyu-purāṇa	4r.3; 5r.3; 5v.3; 6r.5; 6v.3; 7r.5; 9v.3; 10r.1; 10v.3; 12v.3; 12v.5; 12v.2; 15v.4; 20v.3; 21v.5; 24v.2; 27v.1; 29r.1; 33v.5; 37r.4
Viṣṇu-purāṇa	5v.4; 17v.5; 18v.3; 19v.4; 30v.5; 38r.1; 45r.4; 46r.1; 47v.2
Skanda-purāṇa	17r.5

〈略号ならびに主要参考文献〉

- [小谷汪之 2007] 小谷汪之編『南アジア史 2 : 中世・近世』(世界歴史大系) 山川出版社.
- [渡瀬信之 2013] 渡瀬信之訳注『マヌ法典』(東洋文庫) 平凡社.
- [Hultzsch EI.] E. Hultzsch: *Epigraphia Indica and Record of the Archeological Survey of India*, Calcutta, vol. III-IX, 1894-1908.
- [Kane HDh.] P. V. Kane: *History of Dharmasāstra (Ancient and Medieval Religious and Civil Law in India)*, 5 vols in 8 parts, Poona, 1930-1962. (2nd ed. 1968)
- [Kṛtyakalpataru] *Kṛtyakalpataru of Bhaṭṭa Lakṣmīdhara*, vol. I. *Brahmacārikāṇḍa*, edited by K. V. Rangaswami Aiyangar, Baroda, 1948.
- [NCC.] *New Catalogus Catalogorum*, ed. by V. Raghavan *et al.*, Madras, 36 vols, 1968-2014.
- [Niyogi 1959] R. Niyogi: *The History of the Gāhaḍavāla Dynasty*, Calcutta.
- [Olivelle 2000] P. Olivelle: *Dharmasūtras. The Law Codes of Āpastamba, Gautama, Baudhāyana and Vasiṣṭha*, Delhi.
- [Olivelle 2005] P. Olivelle: *Manu's Code of Law. A Critical Edition and Translation of the Mānava-Dharmasāstra*, Oxford.
- [Singh 1991] A. K. Singh: *Development of Nāgarī Script*, Delhi.
- [Thakar 2003] A. D. Thakar: *Reconstruction of Śaṅkha Likhita Smṛti*, Gujarat.

(当研究所専任研究員)

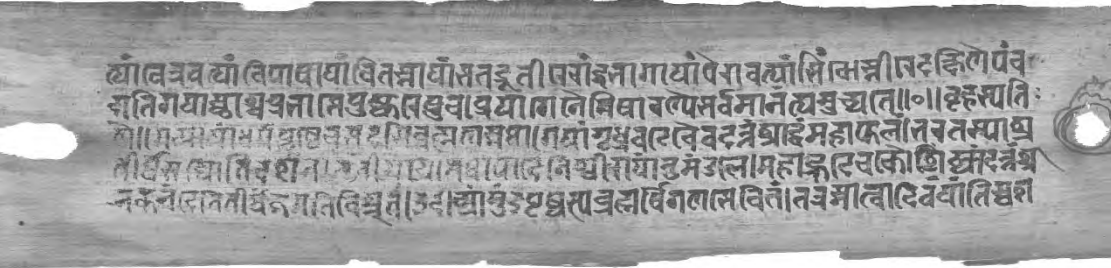
FACSIMILES
(folio 2-25)

left



Contrast-enhanced image

middle



right



Folio 2 verso

left

३ मातममममिमात्वाप्रादंनिवर्त्तत्यत्रतः॥उत्तरंमानसंगत्वासिद्धिप्राप्तेत्युत्तरमातमि
 लिलोभासिक्ततथापमहाप्रण्यमवपायनिष्ठनायत्रासिनवसिंहशुभ्रमवकुनाईतःती
 ततीर्थहितात्रमाःतद्यानुइसरःपुण्यमतामानसमवचनंसीकिनीतद्याद्यादि
 नममायाइसीहविषः॥उत्तरंविटतीर्थचकावरीकविलोदकंमंतद्वंउवगायोप्रविशः।
 वरुणातेइतीर्थहाताशनपरोत्तिरवेत्तुत्तुंगंवागारीतीर्थमशुत्रमांतीर्थलेनायकंनाम

middle

त्रिवर्त्तत्यप्रादंयद्याशक्तिवद्याकुलं।कामासलनतदिष्टो।माहोपाययुरुक्षशा।मस्मयुगलानं
 र्थमिहमतीनामविहर्तावस्त्रत्तसदा।संगमगंगद्यायस्याभिष्टतिवितरस्सदा।यशुनादविक
 मावसरसती।तीर्थमित्रयदंतहृदियनार्थमहाकुलं।शिवातदीमहाकालंतथाकालंरुंशुतं।वं
 मरकंत्काकुत्राचुतुलमस्मिन्नातादिकंतवरशुक्रतीर्थचवित्यातंतीर्थमात्मशुभं
 वत्सुश्वरमत।यवतद्यापयहरंतामशुल्यचतयनीनदी।मूलतापीयत्याप्रावपताक्षीसंगम

right

दाम्बलतातहतीर्थमायाउरीतद्यातद्यावित्रपदंनामततःकावुनशुत्रमांतीर्थवित्तरमह
 कालीचाइतागाहृदती।नदी।वशुमती।खण्णापाश।वज्रवतीतद्यानीलकंकावितित्ता
 शाहृदहमाहृदंगो।हृदंमहाजघा।नदुश्वरविष्टपदंनमीदाहोरमवचमायापि
 रं।मर्थथासिहरेपुण्यफलं।काटियाताविका।कायावताहलेनामतद्यावमीवतीनदी।गि
 यामहावाविःपाटलावनगतीर्थमवत्रिका।तद्यावधानदी।पुण्यमहा

left

लिङ्गदशात् नदीयुता शतराशता कावतघा विष्णुपदपरां अंगानि वा हि कात हनदितो
 जतीर्धवतघा बुद्धमरुतती नदीमणिमती नाम तघावगिरिकलिका इतपापेतयातीर्ध
 मेलादरीतीर्धतीर्धवपानदीपुवातघाशामलनामान महाशालवतीतघाचक्रकोठित
 पुण्यानि सर्वपापहराणि विनामि श्वरं रुद्रं त्रिणाकाखरीवेदिनातदी नदीगादावरीन
 तीतनदीपुण्याद्यामतीर्धमउत्रम तघामरुनदीकाशिववारातोषववातवतीर्धव

middle

द्यालघर्षिता कालिका वनदीपुण्यापितरावनदीयुता पतानि विहतीर्धानि स्यात्तमानरा
 मसुडादक्षिणतया गाकली गुरुकलीयतघावउकाघात्रमापतानि विहतीर्धानि आहमान
 पुण्यतीर्धनामरुतश्वरं श्रद्धं विपुलशं वसिष्ठश्च मतः परां श्रीशिलशोकरं तीर्धनारसिंह
 मविमधातीर्धसुवमातीर्ध त्रिशङ्कनाम सर्वतीर्धनमस्तु यत्र सनगात्री मस्य मता
 त्यातं पुण्यतीर्धवयास्तु पुण्यसामश्वरेतदललाधरमनेपरी अंगत्वं वदित्यातं आमे

right

नद्याः आनामतघुधरं तं इतं तफलं स्मर्ता शाली वारा नदी वारासनः कीचनदी तघाहा
 शमश्रुतातीर्धमचकरं नाम सयामवजुनाई नयत्रसाई धारा विष्णुमखलायामवहि
 मतः परां तषड्भुतघा पुण्यमहाकृतश्वरपरां पातघपिसरा आहमनेतफलमश्रुता
 शिलोवनः आहमतिष्ठमविष्ठुदत्रैकोष्ठिलतवरः समरगारदियाया निवर्तति शतवदिवि
 कमलं पुरा अघातकश्वरेवितदहकायकं परां गावर्धनं हरिश्चंद्रपुरं अइए मरुका मरु

Folio 3 verso

left

३ एषां तद्वाचकं दलीनदीनामा धिवासो पितृया तद्वा सोमि विमलतां रं इती लमहाना रंतथा
 वेवरीयवटिका तद्वा आहमि तेषु सर्वेषु त्रेकादिशता त्रैरां तस्यैव पितृतीर्थे उच्यते आस
 वतत्राकादिशता त्रैकां तद्वा प्रहस्य लिगं वराच स रमुत्र मोमिदं कलानदी पुण्याय त्रमुत्त
 द्वा मितीर्थे तस्यैव वराच इत्यानदी पुण्याया शिकी चंडिका तद्वा विदर्भी चंडविगाव पाप्मीया
 तीर्थे गोतामश्चरामवचा तद्वा वशिष्ठ तीर्थे हारीते तु तद्वा परां वल्यवर्न कुशावर्न हंस तीर्थे न

middle

चष्टयमलकां पताश्च विमलप्राप्तिप्रशस्नाश्च विकानिता पश्मल्लेषु तद्वा तीर्थां निधिं पद्यते
 वरीनदी सुता लिगसहस्रिणमद्यतरं जलावहा जामदग्न्यस्ततीर्थे कमायतनमुत्र मोमिती
 निष्ठा निहत्य नमुविमित्रं उपसाश्च रीमा प्रवाद्या तत्र प्राद्वेन तद्वा हसन त्रफलदेत विरतीर्थ
 सुखापराका त्वरीतात्रगाकावतद्वा जालीधलागि विः पातुषु आहतीर्थेषु आहमान्त्रमश्नुते
 सिवरा विंडारकं च विख्यातं धोत्वा द्वारं तस्यैव वा खड्गश्च लिखकं च नीलपर्वतमवचा तद्वा च

right

यतः सानम तेषु सर्वेषु त्रैकादिशता त्रैकां वा इहावनदी पुण्या तद्वा सिद्धवर्नं शुतां तीर्थं
 कम्पतया नित्राय त्रैगादावरीनदी तीर्थं तद्वा कथानोमस राशुतमेष्टता आहा दाना
 तुष्टकुरं नमिथा लुया मन्त्रैव वा शाणपानस्य विख्याता यत्र त्रैखान रा लया तीर्थं स
 लाहरे डंतथा तीर्थं वित्रकं डंतस्यैव वा विंध्यागम्य गंगायां सुवाना पाप्म वांशुते (अहो
 दरा तीर्थं गमतीर्थं तस्यैव वा रुयत्रं विजयत्रैव शक्त तीर्थं तस्यैव वा श्रीपर्वतस्य तद्वा तीर्थं

left

कंसघातायवमारदातीर्थमश्नकक्षेत्रंनद्या।वेकंरतीर्थपरमंजीमश्नरपुरत्रया।अश्नतीर्थंरवि
तीर्थमर्वतीर्थश्चतुत्रमं।तत्रआहंप्रदातद्यमनेतफलमीशुनिः।एवतीर्थेव्यथाहंतक्रोदिशु
र्विक्राहशीलनिष्ठश्चतुर्वर्ग्यद्वाहकर्मला॥विष्णुः॥नामस्तुविषयेयाहंतकथीरुनगहि
धमीश्चदशावर्ध्यायत्रत॥यमः॥पारस्येयानिकुद्याहृर्गर्हितपुत्रियहः॥चत्सुत्राले॥
वयानानाप्रपारयेरावृत्त्युत्राले॥रुपानदानवाविष्णुपूर्वमुमश्नकर्मला॥हृत्रमहिदधत

middle

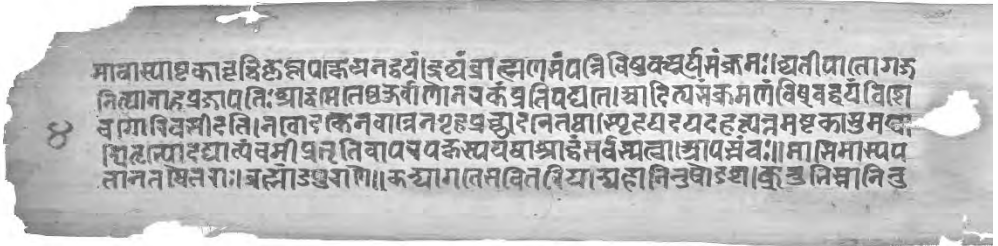
व्यात्मनंतंश्राद्धदानेयापतीर्थविदशितानामतयेवाप्यवतीरुदी।तीर्थवसुपदंनामद्वागलिंग
लामिद्यता।तस्मान्नत्रप्रयत्ननतीर्थश्राद्धसमाचलरातया॥ऊर्ध्वान्नाहंमप्रतयुनित्यामवयवा।
रावायुत्राले॥विष्णोकावर्ग्यद्वाहकर्मला॥उत्तरालमहानद्यादक्षिणेनउकीकया।
परकीययुहयसुत्राले॥यत्तुत्राले॥तद्वाहकर्मला॥मिनत्रमहरविपितलावलाशुअशनागेतनत
तष्टवीतमेदशाष्टना।अतार्थमदेनामात्मानकविख्यायतजनिःतस्माद्वाहपैरगाधालियास

right

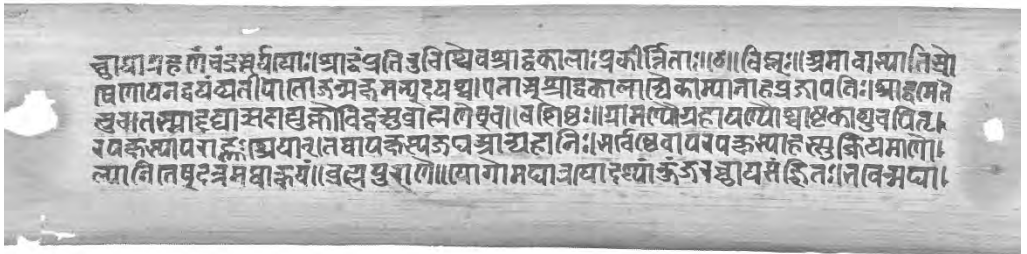
नप्रवचापुश्राद्धशतारःप्रयोतिपरमंपदंतीर्थमात्तुहंतामकरवीरपुरमवा।मप्रला
विधिप्रायश्चित्तादिशान्तासर्वकामविकीर्षया॥यमः॥ऊर्ध्वान्नाहंमप्रतयुनित्यामवयवा।
रादशात्रिशंकवानामश्राद्धकर्मलावर्जित॥पारस्येयानिकुद्याहृर्गर्हितपुत्रियहः॥चत्सुत्राले॥
मिद्वाराद्यान्मूलैवकीवनामत्र॥युविंदवेविधिकैवलामायनापत्यपयशदक्षिणावर्ग्यलिव
यातावाल्मुकिः॥गोमसुत्रिकयाचुत्राप्रकीर्णतिलसर्वपाः॥श्राद्धश्राद्धकानाः॥यारुवचः॥

Folio 4 verso

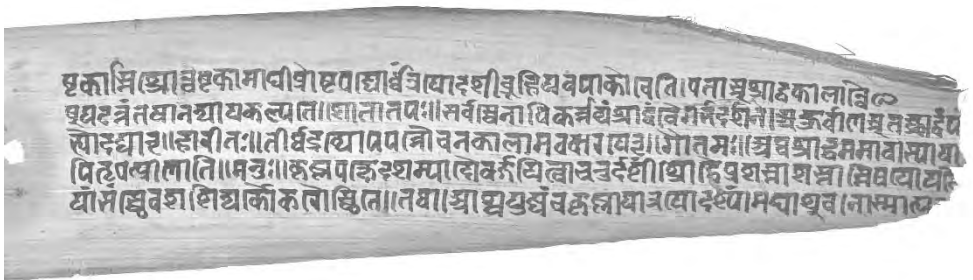
left



middle



right



left

भाकलकालः सपरः पितृणां न ह्यन्यथुल्यैः पलन्यातलोकांसे पनिकावदिनामतस्मिन्
 अथुग्रासिधयः सर्वाथुग्रास्यः प्रतिप्रकृताः कालतयः कृताः मातामायः प्राप्तापलातवा
 मद्विता निपिता अथुग्रासिधयः न कृवाणि उद्यतकारणैः कविः शातातयः कामाय उ
 थियैव वदद्या युतविमयं पद्याः कृषिप्रमयावाणिधं मध्यावाणिना दशम्या उरावत्तव
 कर्तव्यतया विनितिनिश्चयगावायुपुराणि युवानस्य तस्य स्यता सिधोपरापत्ययशात्र

middle

वत्रितयालतदापितृयः दन्तैरुल्लभं प्रदत्तवित्तिरावर्धायुतं न कूलकिर्मयुष्ये तवैश्वर्यतदपदा
 पकृत्याः शुक्रपक्राववदलः प्रादप्रकृतः गतातिथिपरिहृत्य न कृवपुष्टास्यता उत्रगाः प्र
 हितं कामं मनिप्रतापमिदयोपार्वलन विमलन तदपुक्तं यथाक्रमं मतः प्रादं कर्वाप्राती य
 वसिनास्रकादयो कनकरातदादृश्यामाताग्यत्रायादृश्यापाषाः कामासीवदृश्या पुद्गलताना
 लवाहतायातिलबादद्या यु उर्दशी मरी विः सविषयश्चापराहि विजयाम् लघातिना च उर्दशी

right

सुप्रवी कालतरायक्रियातपितृयः प्रादं प्रसादं विधुपेतानना युगंतमग्रं पितृयः सुपेति देवना
 वलासिध्यामगधीर्ष उकाप्रताहस्यः रातनिधः प्रातिष्ठिवायिचमद्यासिने न कृवाणि प्रशमानि
 विकारविषयः सहा सुप्रयासियः प्रतिपदिकयावराहितीयाद्योमवीकामासृनीयाद्योयशश्च उर्दशी
 प्रादकर्मणि व उर्दशी शस्त्रा वृत्तपुराणा वाद्यानशनशस्त्रा यिषिद्याद्वयविनातया उर्दशी उ
 तवसृष्टागवावाप्री उकामिकी हारीतः पंरमी उवकामः पद्यधनकामः तप्रमी पद्यकामः अ

Folio 6 verso

left

ॐमीघसुहतायासाग्यकामःनवमीसताहतायानिजिकामःदशमीमन्नायकामःएकाद
 श्वरमिनःचतुर्थीरुद्रपशुमाशपवमप्रमोमावक्रपत्यानचानपत्यःप्रमीयतापत्यः
 ५ चतुर्थीआद्यमहिः॥महाभारतासतीनाउमवप्रधुर्जुवद्वाहैत्रयादशीनावश्वपुत्रयुवा
 धिपतिर्नवरावरार्थिनोततीयाउश्वप्रीयापनादमीआहैवउर्ध्वकीलःशत्राक्षिज्ञान
 तिगलानोवापिपानवरसेवलीरुद्रमात्रातिपाष्टम्याकृततरःआहैनवम्याकर्त

middle

शीवदिकामःद्वादशीश्रीकामःत्रयादशीयशक्तामःचतुर्दशीनृत्तिकामःसप्तिकासावाश्रमा
 शीलोक्ष्मीलश्रमप्रमरुणाराहेप्रधमपुष्टिःनवमपकस्तुराःदशमयवहातवाहैःएकाद
 श्वाश्वमीयेतनरागुहावायुयुगीला॥७॥विप्रसम्पत्तिर्ममपुत्रानिश्चयमववाकवीलःप्राप्ति
 पश्यतिहितीयायाउयःऊर्ध्वदिपराधिपतिर्नवरापवम्यातिवक्रवीलप्राप्तिमहतीश्रिया
 यामिश्चयश्रीवमपरीऊर्ध्वदशम्याउमरावाह्लीश्रियमवापुयाशावराधिनापुयासतीहि

right

दास्योत्तर्वकामः॥आपन्नंवाप्रधमहनिजियमालेश्रीवायमपत्यंजायतिहितीयसनाःततीयव
 शीरुक्तायवद्वादशपशुमाश्वत्रयारश्वरुउवावहमिवादर्शनीयापत्यायुवमालिभुनवंनि
 मास्याउममूलफलमश्रुताप्रतिपदनलातायलक्ष्वायनमप्यतिहितीयायाउयःऊर्ध्वदिपरा
 पृथ्वीग्राहानिऊर्ध्वलिहिजामैरुययत्ताकृतियसुसप्रम्याग्राहानिमततेनरःमहासउमवाप्रा
 यालीमततेतथाएकादश्यापरदानमिश्चयमततितथाद्वादश्यावक्रयत्रानाद्यमाश्वर्वसनि

left

निवाप्रजोवद्विपशमिभं स्यात्तंयं वृष्टिभ्रमादीर्घमायुवमेष्यदं कुर्वील सुत्रायादशी। अ
त्रावाविद्यामनीष्टाङ्गी त्वधनेष्टाङ्गी वितंश निधत्तासर्गकृत्रिकाया अपत्या निताहि
ति। कनकविश्रायास। मित्राणि मित्रा राधेशाङ्गी कृषिभूल। मयुड्यातामिदिमाप्रास
मेरुसामोयैकैवैवलेवलेनया पुत्राभिष्टमसिनागं मयुद्विभुत्पतासता प्रहत्रवकु
याक्षिमारा आसिकप्रहसनन्यथापतमदमसरा वायुधराणा आदेयकृत्रिकावागक।

middle

मावास्याप्रवाहिन आहं कुर्वीतः शुविः। सर्वाका मातवाप्रोतिष्टर्गितं तं मयुगो विभः। स
लीषु। वसुवर्चसलाभ्या। तं डाली कर्मणा सिद्धिता। तं वं वनर्वला। उद्विनाया। अयं सत्यं। स
वीका माविष्टा। तं वाप्रिष्टम निजिता। सर्वाका माप्रवणे। वनेवासवा। आराग्यवाउणे। कुद्य।
तां सेववा। लघ्वप्रवृत्तीं मया। अत्रागि त्वं यहा। तं तहा। कता परमोगति। धने विद्या निमसिदिउ
ता निमतेनरा। अशीना। कयसा। यलो मोद। तमगतका। रा। शुवत्यका। मा। ताहि। पोला। त्पाना।

right

तनमाश्रित्याह्नि आहं कुर्वीतः। ताराग्यप्रोति। सोताग्यं वा। स मर विरयं। को। न सर्वाका। मा
वीका माविष्टा। सोताग्यं न। ग। धनमायं। ह्ना। सति। अहं ह्ना। रयवतः। सतां। स। सवा। लघ्वमिदिष्टा।
इष्टमा। इह माहि। वी। त्रागा। पो। अ। उरगना। श्वि। न। जी। वितं। दाम्या। या। रुवन्म। स। र्गित्यपा। त्प।
या। ह्ना। म। स। डा। वि। का। अ। श्ना। ना। यु। अ। वि। धि। व। य। अ। हं। मं। य। य। त्प। ता। कृ। त्रिका। ह्नि। तं। स। क। मा। ना। प्र
दा। श्वि। न। लने। श। या। य। म। कृ। र। क। र्मा। र्वा। द्या। या। आ। हं। मा। वर। रा। क। त्वा। म। नि। व। त्प। श्री। आ। हं। कुर्वीतः।

Folio 8 verso

left

तितिवंदिमातकृयापकृयाकृयंकीलोराजनिमतापियवोक्तं दृष्टमानेपितव्यउदस्यापक
 वंदमारविदाकृनामयदिइनाद्यप्रहवतिप्रव्युर्धनामानकलावशिष्टःतद्वपवहस्य
 तयकृमातातवशपकादावचकुर्वीतसदापाकारिकवर्गप्रवोक्तपवज्वंतिविदियाश्च
 नाःमद्याकृयाविनीयाउप्रवीवायहिमापरातस्याकर्मयुक्तवीतकृयहृदीनकारणा
 सपक्षमवेदा(निगम)आहितायेपित्रवर्नं(पिं)देनवब्राह्मणानयिताकृयरात्रिभूत

middle

याअमावास्याप्रतीकृततदोतवापिनिर्वापराअष्टमोष्टवउदृष्ट्याकीलोतवतिवंदमाअमावा
 पवकृअपवेष्टातिशुक्रविलावरंति(समि)प्रायावउदृष्ट्याममावास्यानवकृविशस्य(र्व)तात्रा
 मनीषिणः॥लघुहारीत॥त्रिमूर्तीधिकर्तव्यापूर्वादर्शाववहृविः॥कुङ्कुमयुनिःकार्ययाघृसा
 र्वणप्राद्विद्यमशांमनुः॥अननेविबिनाआद्वैत्रिहृत्स्पहनिर्वापराहमंतयीधवमीधपाव
 ॥अवहविद्याणि॥मनुः॥हविर्धिराराययदानयायकल्या(वित्त)स्यावितिवद्वत्रेतयव
 न

right

स्याद्यमा(सच)पुनःकिलतत्वरअअहायल्पमावास्यांतयाष्टव्यानवरविशिषमास्यांभवते
 विडः(कवि)इषमितिवापरा॥मानाममावास्यालकृयरापतहनिद्यामोअिन(विका)वा(वि)दि
 मगीतिति॥पर्वणाकृतरीथिउकार्यइष्टिदिजातिति॥हितीयासहितेयस्याहृयंय्याद्यालोघ
 यद्विक्रमवहशमस्यावगालाअननेविबिनाआद्वैत्रिहृत्स्पहनिर्वापराकयाऊंसयवस्त(का)क
 सीम्याशयत॥तिलवीहिअविमीषेरक्ष्मूलकयवनवादवनमातृवीयांतविधिवद्वितोसाटणार

left

होमासोमस्यमांसनवीणमासाहारिलेनडाअरुणाप्रवतुःशाऊननाप्रवंचत्वाम्ना
 प्रायसतवावाधौलसमासांसनहृद्दिहाइवाधिकाणिमः॥प्रिविधेविद्विद्यहीणाप्या
 हलाहामिधेनधाअनद्यायेवकल्पितेष्वयानिचत्तर्वशः॥यमः॥हल्पकचतुसामा
 सुहृद्यतयसिल्लयहलविहयनचाकामनदातयतिलप्राहंकघंवना॥विष्णुः॥तिल
 लसयवाविषाणवर्धाप्यखडाअस्यर्चनामुमुद्यातात्तुगावप्यारकाइशरपतणाइन

middle

सांवागमांसनपार्धतनाप्रमप्रवे।अष्टावेनयमांसनरोरतलनलेडादशमासासुहृद्यन्नि।
 तेषुहमशपतिः॥वाधीलसतुतवाहुयाहियाः॥पिठकर्मणि।रुधयावारकशिरा।अतपरी
 मावउप्यालातिपववि।कानेशाकंखदद्यलोहद्यागस्येवचमहाशकुलिनामस्यापि
 वीहियवेमापेइमूलफलेमासिण्यामाकः॥प्रियदनीवातिर्षुनिगीप्रदिमीमप्रीयंत।
 ।अत्रपिठगाद्यातवेति॥पेमीनस्त्रि।पुतेनमांसवीलातियवासप्रदरुसतिलत्रीमासा॥१॥

right

वारहमहिषाभिविः॥सशऊर्मत्याद्यमांसनमासानकादशेवडातंवसरत्तगाद्यनपयसा।
 विहंगमः॥सविवाधीलमः॥प्राक्तइत्यानिगमीयुतिः॥इमः॥कालशाकमहाशक्रावि
 त्पानवाधकल्पितामहात्तावता॥पर्वमानतिलप्राहंसकयमचबुवीरातया॥सर्वकाले
 नचगावप्यारकाइशरपतणात्यंतप्रपिठगाद्यातवेति।कालशाकमहाशक्रामांसवाधी
 तताः॥प्रायसंतिलकसरवेहसुवर्वालाहविनमुद्रकधमाधारण्यामाकप्रियद्वयवाइम

Folio 9 verso

left

ॐ नमो भगवते वासुदेवाय ॥ अथ प्रथमः ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥

middle

संवत्सरेण शक्राब्दे ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥

right

धाणिजीत्वालक्षवाग्मयं मृतात्तावाहल्यप्रवरः ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥
 अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥ अथ विवर्तनं ॥

left

गारकपत्रकोपिप्यलीनविविवपललंरुहतीफलोचुगविमध्यमोसंवकालायाःतर्पणवपु
 कायायकरचंद्रकापृतप्रकाः॥कसगमसपिचपयःपायसमववासिद्युचनवा
 मकय॥सर्वसंप्रतीताःभक्तिलेलापकेनकेःसकुलाशसपात्रपाकुल्मायायुजनःस
 ॥हारीतः॥तिलिःआइंघुष्टिकामःऊयीचपूपिआदिकामोचृतगुहातेलस्रुष्टामःभो
 कमहिषीकोरलिवरुंयशराहमावमसुप्रद्युषितकृत्तुवलानिवाद्यतः॥पिप्यली

middle

मारीतिवाद्यानिष्ठाहनिमध्यानिचानागरंचात्रवेदयरीधमूलकामववा॥आदिचुचाल॥यववी
 त्यादद्यादिष्टिमफलेलानशस्विराद्यवसंस्तुष्टनकात्रानाविशनपिदत्तानेष्टावतिआदि
 होसपिमिष्टानिसर्वाणियत्रासकृत्यानाइनेआदिप्रतुष्ट्यादद्यापितरःप्रोणयतिताम
 नायकाभासग्यकामादापरमात्रकृत्तुमरमासदवियवाशतिःसर्वकामध्ववद्यानिविष्टः॥
 मरिचंविबनद्याविर्पांमूलकांरुतंनलवणंमर्वंवायंरविवरुंयशराहमावमसुप्रद्युषित

right

हिमगाहमौतिलाचुक्राममर्षियाःविद्युतःकोविदारात्रिष्टाद्यावमोनना॥वायुप्रगो॥न
 वधीचुचमपासुताचतनलाहृषद्विवाचतात्रुलासमुष्टुहृषाशर्कराहीरसंयुक्ताधुषकानि
 सप्रगो॥यकिंविमरनासिष्टाणाकीरपृतपायलिःइत्रमकृतमिष्टाडुपिनरःपूर्वदेवताः॥
 पिप्यलीष्टुक्तंमृणाचुरीमर्षपुत्ररुष्टाडालाववातीकपालस्यातेइलीयकऊडेतविडमूल
 इवाकानहृषकारलोहिताहृष्टानिषाआहृकमणिवरुंयशराहारीतः॥पालद्यानालिका

Folio 10 verso

left

पतीकाशिशृङ्गुवार्तकनक्षत्रमावमस्रकतलवणानिचआहिनदद्यात्।महाता।
 वयविवायाहितेनवशरुसंज्ञाजीविशितवहीतपाकीतयिववायैकुमाद्यासवावही
 विवर्जित्याहाशीतः॥विषद्वहतेमामंयाशितिर्यहंतवयानतपशंसंतिविश्राहयव
 पञ्चलास्कांनलनिद्यवमाश्रुनिनकंदयष्टिवृहता।आविकंमामंमोष्टवसर्वमिक
 मादादकायत्रसवीधैमुष्ट्येयवाताद्यानिमान्जैतद्वर्षशलिलजातसदिवपितक

middle

राताअश्राह्यानिक्थानिकाइवाःपुलकास्रवाः।हंयुत्रायष्टाकपुत्रलतलेषुनस्रवा।प
 इहशृंगारकानिचावर्हयस्त्रवणमर्वतघाजंमुफलानिचअवृहतावरुहितंनयाश्राह्य
 मंत्रविवर्जितं॥वायुपुराणे।वर्षनीयानिवह्यामिश्राहकर्मणिनिद्ययाः।करमंयानिवाया
 हंवयशमाहिषेचाधरतिवपायावहीविज्ञानना॥मार्कंडेयपुराणे॥अथविषयकं
 मंलि॥मस्रपुराणे॥मस्रसनिनिद्यावराजमाषाऊलस्रकाः।पयविचक्रुदरणाविन

right

लांइशातोऊनकातवायंऊनकादयः।ऊकुंडकायलाइनिरुखेलवणामववा।गाम्यवराहमासं
 वर्जयशराहपुराणे॥अरुताययणयचैमयज्ञावेदिज्ञानमाराऊमावानरुष्टिवमस्रंया
 निहीजानिरमंयतः।अयिदाकाथनिर्यामालवणाद्योषरा।राहर्गंखलिनंवेवतधात्व
 यक्तायवायुपाहतौ।वर्जनीयसरासहिमंययः।आहकर्मणि।दगीविहितिलंवासुतवात्यप
 दारद्वकाः।नदयाः।पितकाद्युपयध्यानाविकसद्या।काइवा।दरवरणक।पिचमंयकानधी॥

left

शी।पतायमिनरयानिपित्तमःश्यमिभुता॥वत्सुप्राले॥उच्चित्रंविद्वंषत्पिवा
वासमावावृतातिवद्यामिश्राहकर्मलारविद्याकंतवाससंशुक्तैलोषविवर्जितावर्ज
वानहिसावृष्टिद्यावविल्लवद्युद्यत॥सन्निष्ठादिशःकवितस्यानिष्ठासयापे
यकयानिष्ठादिनिःग्रहवमायविप्रायतस्मिदनेमहाकलोपकिंकमपिदिहभित्तवि
तस्यतरेप्रशाश्वतीमन्योर्षीयम॥पेताप्रिवीयऊविरीययवावत्तशीर्षकः॥आत्म

middle

याविलहितांशर्कवाकीरपाशालेकशिद्यद्याशुयाहतांपिल्लकंमथित्विवत्तयातिलव
यिततद्यावाद्याश्वीतनिष्ठवानपि॥यद्यत्राल्लपरीक्षा॥मनुः॥ररात्तवपरीक्षतत्राल्ल
।मनमिच्छुक्यानिप्रतिष्ठाथानियन्तः॥कथानिवत्तद्याहमितिष्ठतत्रविनवाह्यले
व्यावनाऊत्यरापुक्कलेकलमात्रातिनमवृद्धवज्जनपिशात्रनलाऊत्यआह्वहवेत्तरपावा
विवाह्यिष्ठवत्तरायासुतमयापनिस्तवियवावस्यपकारिणाववाभत्तशठलागानाऊत्य

right

लंवयरासिद्धाकृताशुयनस्मात्यत्तलवलीकृता॥वासावृष्टाश्वतथाडोष्ट्यापहतामया
वदपायगातीर्थतद्वयकद्यानोप्रहानलातिष्ठिस्तः॥मनऊमचरयानिकयातिवहवीधि
परीक्षतदेत्तकर्मलधर्मविशपित्तकर्मलसंयात्रपरीक्षतयद्यन्नवः॥आप्रियातिवदयानिह
गाशास्त्रकमयाध्वंदागोवासमाप्रिगापषामयतमायस्यलेकीत्तप्रहमवितगपित्त
द्याद्वितश्चात्तवत्तवत्त॥उच्चिकर्मयथाध्वंनिकर्मलधर्वला॥हहम्यतिः॥यतकोनाऊत्य

Folio 11 verso

left

११ हंष्टंसागंतत्रलाकृत्यशआतायहंसिसामानितृत्यंतत्रविद्यता।अततष्टविंसीसर्वंसि
 पारगः।अत्रात्रियावापुत्रस्यापिताहृदपारगः।द्यायोसमनयाविद्याहस्या।छात्रिवा
 प्रातयतीहृष्ट्या।अत्रापिरितवयसाविकर्मश्चात्रात्रिधानशिआननत्रवा।सि
 विमत्रीज्ञनवसकलावितः।पुराणवत्रावहसद्याधायरुपतत्यः।शिवनक्तः।पितृप
 ताभ्यामपत्रोअनुधुवविद्यायाता।अथपंक्तिपावनाः।।वराधविपसुकाववत्सगरीमह

middle

लवनकानता।अदिलन्यतपिअर्थसाआचक्ररचितकः।शातातपः।।नोऊयद्यसुधवीलाववि
 पिताः।।मउसंअडुनार्थसुकरमितवाहति।।याकवेअधकमीनिष्ठा।।पाविष्ठापंचाप्रिबुल्लवा
 नः।।नोऊयदियउहन्ति।।गोतमः।।आत्रियांरवाअयपवशीलसंपन्नानी।।द्यवपवात्तादानेप्र
 रः।।शिवनक्तः।।पितृपरः।।सूर्यतकोधवेन्नवः।।बल्लो।।योगवित्यज्ञाविजितात्मशी।।नवाश।।नोऊ
 पुशः।।शोताय।।अतिविहयावाहलाः।।पंक्तिपावनाः।।मउः।।अपमोपहतापंक्तिपायातव्यदि।

right

अचकमीलाअनंतमृकयंजेवकलतस्येतिविश्रुतिः।।मउः।।अत्रात्रिधपितायस्यापुत्रस्याहृद
 रिल।।पितृमाहृदपराशिववात्सलः।।आहंसपदिः।।।।वाद्येष्टः।।।।पितृमाहृदपराशिववात्सलः।।आहंस
 ममिकिपितृश्रुत्युक्तंवयलागुल्लापवात्सलहृद।।अद्यानाहृदपराशिववात्सलः।।आहंस
 यद्यापिदाहृदयन्नतः।।अथरुपः।।विद्यतेमाउलेवधृत्रिकोवायु।।सामपाशकुहपुराणा।।अन
 ज्ञानमिः।।तत्रिवाअनकाअनविद्यायाः।।पंक्तिमानवाः।।अथ्यासविष्णुवदधुसवधवचनधुनका।

left

यावन्मयाश्च विदुषाः पंक्तिपावनाः। त्वरार्थविषयकावत्सवारीसहस्रशः। शतानि।
 त्यानवरात्रिणावकताविरुद्धं दागाश्चिन्तामगः। अथर्वशिखामाद्यतानवितये।
 लवत्तस्मत्पुत्रादीपुत्रालविराजिषा तस्मैविद्यासुखात्मानकल्पः। गुरुदेवमिष्टो
 निरतस्मदा। पुष्टवलिः प्रियः अर्क्यदृक्मीदात्रद्या तस्मत्पुत्रतः। पुत्रिः। त्वरुः। सर्वथा
 मत्रिणा नियमसुधाय विद्यामतिमयाताः। प्राणिहिंसानिदत्राश्च तद्विज्ञाः। पंक्तिपावना

middle

विदुषावात्सलाः पंक्तिपावनाः। अस्यामदा विरलाधर्मज्ञावुदयः। वृत्तिनानियमसुधाय
 क्रिपावनाः। शिष्यश्च निहावीश्याद्याव विप्रदंगविशमत्रवात्सलविद्वेयवृत्त्यादमीपा
 सुप्रशिक्षितनतयः। विमुक्तसर्वताधीत्वावत्सलताद्विज्ञा त्रमः। अनमिवावनामिवाति
 सुप्रवसापरायणः। गृहस्थावत्सवारीवचनविदविदेववाविदविद्यावतस्मान्वात्सलाः पंक्ति
 श्रितिलवृत्तास्याताकमावेतासुयकाः। त्वयविग्रहनिमिहात्सद्विज्ञाः पंक्तिपावनाः। सत्य।

right

अनुकूलानिगामिनः। पंचाशिष्यधीयात्तायऊर्ध्वविद्वान्तः। इत्यायसुलोपणमिधुवीपि
 म्कः। अविद्वतीअवीकश्चतश्चादशवात्सकः। वात्सल्यवास्तुताश्च वगैर्यश्चिन्तामहस्रः। वंशाय
 त्रयात्मविद्वत्वाविदविद्यावतस्मातावीत्सलाः पंक्तिपावनाः। वत्सव्यासमित्रताज्ञातकाश्च
 पावनाः। वृत्तव्यासमित्रतात्वकषाणपटत्रयः। अथक्तात्राश्चमिन्नात्सद्विज्ञाः पंक्तिपावनाः।
 वेतश्चधीयाश्चनित्यदानपराश्च। मंगलाचार्यकाश्च तद्विज्ञाः पंक्तिपावनाः। यत्किंचित्पिद

left

द्यातायणी यदुतं वरुणववा अया वितासी विद्यावा आदकल्प विरववा अष्टादशानां विद्याना
 तस्यदा अरुणम पिऊवीणमप विउशनादं ॥ वरुणात्र किशुक्तन इति हाम उरा ल विद्या ॥
 सिंका वासिक मी वा संकी ली स्रकता पिवाना अमता र लं दाना द्या गे ध्राह प्रकापति ॥ पित
 र्णा जाल्य इ लं वा विणा तदान प्युदासी नं एह सुम पिता ऊयरा मउ ॥ एष विप्र प्रमः कन्य
 सामानी ति आदस्यम हि मात स्माद वै विधं स विउमया सायरा वशिष्टः ॥ द्याना पिउण ॥

middle

विद्याना मकल्पा अयि पारगः ॥ विमुदश्चुल सोपली पंचा सिद्धि सममगः लो डायले ॥ परा कैवी
 अग्रवी शिरसा द्यिना ता वृणा पिह निः उरा तयः कृत्वा उ यामा उवा दितो पितृ कर्मणि वा यु
 रमस्य उद्योति उरु हाम वे कर्षका ॥ उवा वा यव वा पोत्रा द्या विनय सुजा ऊयरा यमः ॥ सत
 : कान ह द्याया ॥ अचकस्य स्य कय स दा स हि रनु सितः ॥ माता मह मा उलं व सु श्री यश्च सु र
 वता ता ऊयरा आ प प्रवः ॥ नाऊ एडा लणा वल वि ला यो नि ला उ म उा न्न वा स्या ॥ वशिष्टः ॥

right

नियमयश्च संभुताः ॥ बार्हस्पत्येनी तिसा अंश इ विद्यां च त्रियः ॥ इति हाम उरा ले सुयः प्र वित्री क
 उराणा ॥ एह सुना सहस्र ल वान प्र सु म त न च उलं वा रि महस्र ल या गी प को विधि य त ना
 तं या ग यु क्ताना वी त रा ग त प धिना रा स वी चे न नि ह रा नो य ती ना द त्र म रु यो अला त द्या न ति ह
 उरः ॥ सा हि त्र विद्यो ति वं प्र विद्या ल्य वला ऊयरा वा क य न ॥ त द ना व न ह स्य वि द्या य हू धि
 वि द्या द्या वि द्या सा व य रा उ व नं रु ता त वृ ना ह धि मि उ नि म ह द्या रा य त न य ॥ हा रा नः ॥ अ

Folio 13 verso

left

13 पिबिद्याज्जलसुकाहीनहन्नानराधमाः॥कादधुनिरतानित्यंउसनाःयकीर्तिनाःपकि
 तत्रिपाउर्ध्वसविडवास्सलानामयस्थवह्वलीपतिः॥उद्यानाः॥वेद्याउह्वलीह्याउह्वली
 द्यापकावह्वतकाद्यापकाद्यानामाविद्यतितपोरमिति विवस्यतावरीशमउः॥ऊः
 कामिवाश्विस्रयापदीवपशुपालश्चप्रवित्तानिराकृतिः॥वह्वलित्यविविनिश्चगणा
 लात्यवित्यकामातापिवायतास्रयावाह्वीनित्यम्वैवेःसत्यापिपतितर्मनः॥समुद्र

middle

मीनम्याप्रायमर्पकच्छप्यातिनः॥नानाऊंउवावद्याकापोकाडवास्सलानाहित॥तस्याभङ्गप्रद्योत
 वस्तुधजाश्चपराह्वलीह्याऊंमारीआरुह्वली॥यास्तिनामुद्रहक्यावाह्वलानानडवृत्तः
 हिलेचनधीयानेडुर्वलेकितवन्नया॥द्यानयेतिवस्यधगोम्राश्चश्चाद्विवर्जयशक्तिसकादे
 ध्यन्नरपवराऊधीलावापकीर्तिवह्वलीपतिः॥वववापानवेवस्यकालश्चयस्यलोपतिर्गृहा
 द्यायीवेदीवतलिकः॥रूकारकः॥पिशाचिकरमानश्चउवावायस्यवववाजीमरीमङ्गालीवश्चि।

right

तारासह्वलीग्रामयानकाः॥वधवेत्सपदीवीवधत्तउह्वयधवः॥यमः॥अस्यावह्वलवदीवस्यद्वि
 श्रष्ट्राद्विद्यमप्राक्तयतेविद्याह्वलीपतिः॥इन्द्रात्रयागाचनहलानात्यसितात्मउरवरीशमसुन
 वलकामासविऊयिणस्रयाविपजलसङ्कीर्तिनावहीस्यह्वकथायाः॥धृतिनाद्याउकाश्चवह्व
 ह्वतकाद्यापकायस्यनृतकाद्यापकश्चयैः॥अद्विद्यायुरसिववागृधःऊंउगालकः॥अकाव
 जास्यापिशुनस्रया॥उमत्रासुवध्वीस्यविदनेकपवव॥हतिगाह्योद्वरमत्कानेकविद्ययावति

left

पक्षिणां पक्षपाकयथ्युदाचार्यसंश्लेषवत्। आतर्भातरकश्चैव तत्त्वावातरणचतः। ग्रहसं-
निक्षिपपञ्च। उपविक्तामाहिषकः पञ्चशृङ्गाप्रतिमश्राप्यतमिथीतकाश्चिवरर्जनीत्याष-
। शत्वनिधितो। इधमिऊनसिः ऊष्टिश्मावरंतायचाग्रहीनातिकाद्यामानयिवर्द-
हासिदिवष्टिपतिश्रीशमयाऊकाऊपालोच्युष्टाग्रिमद्यपञ्चवक्ररुमाहिप्रातिहाविक-
रगपथ्युष्टातिरविकश्रदापतिनिगुरुतिकिवाभिऊनीदिवणिद्विलिङ्गीविद्यावादिव

middle

विशकाहोतहृत्प्रापकमिव। सुक्रादिष्यनजीवितक्याहप्रकपवत्। हिंसाहृदलह
यज्ञतः। पताश्रिगर्हिताश्रापयो। कयादिज्ञायमान। दिज्ञातिप्रवता। विज्ञानमयप्रविवर्कयश
यशप्रमजय। तत्पुष्टीकात्यायनः॥ दिनप्रशुक्लविकीविष्टावदंतविद्युज्जनाया।
उपप्रतिर्यपचमः। ऊष्मासिमासविक्रयागारु। हिनरदावकी। लिंगलप्यथागम्यामाहि
नालनेत्रगीतद्यानार। पञ्चाकात्मनविनका। दिष्टी। शिकसगात्रश्च। लाज्ञायद्वैत्रि।

right

त्रिभुगलानां त्रिव्याजकः। आवाही नक्षत्रावप्यनित्यं याचनकमथा। कुविडी वीथी पदाचमसि
 । हासीतः॥ विकधी रसत पणपेक्यानि दसि मङ्गलशुभम् तस्य नामा पाननव विभ्राचकमहं नि
 पितद्यमश्चि कुष्ठि कुनत्वि वई॥ गौतमः॥ नाना रसि सनक्षी व पिततहं तनासिकवी
 सपय विप्ररा विप्ररा तदपयी हितपयी सनय ई वील कुन मिथ्या वदताप्यो नतव किन वाई प
 तुल वनः॥ आह वन्मः॥ पयुषवी पति सनक र्मी ड्वाय निरिनाः॥ दमः॥ नार्थं ति पियुन

Folio 14 verso

left

१४
 एतानाश्रुतिवृत्तिवारिनितायीजित्पनास्यंतिवस्यत्वापप्रतिष्टे। नखरेकपायानस्यन
 गिनायज्ञेयहतावाहानिज्जिद्यस्यतिप्रतिनाः। ज्ञातापप्रतिज्जंरसिगालकहविदिविष्टप।
 वृत्तकरणावृत्तगाववाहिनः। षड्विंशत्कीवास्थ्यपप्रतिताः। अनपद्यकदुमाक्षिपस्वाप
 मिह्यानिजावृत्तिलमलककुविद्यनृतककथाः। षककृतंश्रुक्वकुलकपितृयनाप।
 गुरुयज्ञायाः। मानधुमिहातमदतामहादरमयस्मारीत्यष्टिपापसागाः। जगवकात्रवि

middle

१५
 रकाश्वरवाससः। ह्युलातीतकर्ममपुंरुतापितराहविः। यपतलकालेमुकासासुपंस्याननि।
 तिरुदन्तकाद्यापकायाद्यया। उकवृत्तकर्मइष्टइष्टविक्रयकरधवलसे। नरकानार्थप्रष्टसार
 पातिष्टी। जितसिउत्तरकतालाववरणा। पापजीविधर्मपाठकनित्ययाचनकथायश्च। नि
 ययिममय। नरकवायइष्टपुष्पकानि। लिपिकहस्या। ताहाववैवकास्थितिपतनीयुकाः। अष्टा
 रकालेइष्टविकलेष्टियाः। उनयतागन्किदाः। इष्टप्रणायापिष्टतमास्थिति। एतपवविकः।

right

१६
 दिष्टिः। एतलः। एतानर्तविष्टमानरप्रवृत्तितवश्च। मित्रपातकाः। मातृपितृवृत्तराशिहाउत्ता
 धनसिर्वलकवाश्चिकिगा। नित्यपिविनि। यापितृकृष्णष्टकोडाष्टाभिष्टत्यवकी। लोमन्वा
 मित्रक्षेत्रीसाहसिकष्टगश्चितवनाधिकपिष्टुनमववलिङ्गवहि। पोतुर्तवायंतविष्टकमसष्टमा।
 निःपापतागेरिति। नताविकलेष्टियाः। हीनागाअधिकागा। अतिपकिरष्टकाः। उमादह्या। या
 कावर्जनीयानरावमाः। अयमः। कालकृष्णश्चंडालकृतप्रायस्कृतल्पगाः। साष्टकामास्रवायत्रा।

left

एषु विक्रयणिश्चात्मानं वचुता कृता शिल्पिता ग्रामया रक्षा। राक्षसाश्च विप्रमनस
 कृतिरीषतागीहयाश्चमी। एवमिदं विहंत्य रक्षा प्रवृजिता ययः। ययुषवृजिता जूनः प्रवृष्टा
 वृष्टाश्च मवात्त्याश्च मर्वितप्रकिहृषकाः।। एते लिलिते।। अष्टनवाक्कमरा रक्षिष्ठा नृत्वा
 रीतः।। विक्रमकष्टवृत्ता प्रथकार्मका कितवः कृजीहृक्वा ऊनिजी विमीनया तकावष्ट
 पत्तामी महाप्रक्षिप्य पतितः पतित उता हिताश्च अनिवर्तमानाः पकिहृषकानवतिवर्त

middle

चोत्प्रेमकः। गंडवृत्ताश्च। यविप्रपलक्ष्य कलाभत्या आगारहाहिनाश्च वगरदावनसहकाः।
 वसितवृषः। मयुः स्यामी वानीही। कशविक्रयिणश्चात्मानं डिक्कृ-काननायकात्मानं रक्ष
 हंका। प्रकटिरीगरीहया सिद्ध्या मलिकः। श्रद्धापाद्यावृद्ध्या लिलावल्कः। उरोहितेन
 कष्टवृत्तवार्धिकाहिता लुक्कृत्य वसितवृत्तकाश्चापिताद्यापितमलकमृतकनिप्रमकऊ।
 एतित्युच्यते।। तिस्रः।। आरहा उवाच त्वुवाच मेधा यस्य न च घात्रा उवाच कात्र्या रा। मयुः।।

right

वलिजो मयुः हंता रोहस्य सूरमकाहिताः। समधानां वज्रत्राः पराजित्यववावकाः। विधुनः। रक्ष
 काभिलाशवाई विडुष्टात्मा परधानां वनाशकाः। वृष्टाश्च मवात्त्याश्च मर्वितप्रकिहृषकाः।। एते लिलिते।। आह
 कृता रक्षवृत्तिवृष्ट्युक्त्या पतयिष्यति वः। रक्षकारमावृष्ट्युक्त्या यिणश्चात्मानं क्रियाः।। ह
 मीनवादीहिव पित्याववर्जितानां रक्षमकपिलावकृत्वा। एकनक्षत्रजीवी महाद्विगामिनी
 मविक्रयिण विद्यानिष्ठजाम्बवत्या लितां प्रपतिष्यं वाध शिल्पनष्टद्वले कलावरायत्र्या लिलाकृ

Folio 15 verso

left

१५
 तंवहना सुवतह तव नमनी वरुते ह्यंत वाप्येन र्तव दिङ् । इत तव त्व प्रोक्तु यथादि ।
 तानन तव त्व य फ ले ह न म्या त्रि का । वी क्तान तः कालः प्राप्ति स्थिती शत म्या पा प त्रि भा
 क्रिया व त्रि स ना क्त न कृ मा । कृ त् व र्मि न म्या क्त न त व क्त न कृ दिङ् रा न त व व र्म
 क्त न कृ म । वा यु युराण । अ सि ष्ट हा य न कृ स चा उ रा म्प वा ह्य तः । अ य ति मी क्त
 ह्य का । र व षा यु य न कृ ति ला स वि का प टि का स वा । नि चृ णा नि न ह त्रा थ्य स र्व न द्या ध्व र्ज ध

middle

घ्रा सा यु वा । म दा शृ ण म म द्या ष्टि व र द्य न म नी षि णः । त वा ॥ अ यो क्त या व नः प ल्या नृ क्त ना न
 म ह स म्प र्ज न त्रा य य त फ ला । व सि ष्ट ॥ अ य त य त्र वि द्य क्तः द्या री तिः पं क्ति ह ष णः । अ ह्य त्र व
 क्त ना उ श्रा द्वि षु प रि क ल्प य रे । अ व त्ता क्त वः स न प्रा ण वि क्त यि का यि वा । प थ्या च त्प्या तः
 वा री व उ त्ता ति पं क्ति ह ष का । उ ये ण त प म्प्रा य क्त वि त्र वा री व र द्य तः । अ ना अ मी न प स प ते
 श प्रा ह त रा व र द्य ता त र द्य त्वा प री व ति । उ त्ता नो ना र्ह तं श्रा द्वं दृ षि का प ति स व वा ह्य रा

right

उ प द्य ति । ता व ता न फ लं व दा ता प्राप्नो ति वा नि षः । त वा या व सं स्था ष र्ग णा द्या ल्प श्र द्ध या त्र कः । ता व
 म ग्रा ह पं क्ति पा व न प व सः । म हा ना र त ॥ शी ल व वा ॥ ए ष क्त ना त्र द्य य प रि क र्ष काः । सा वि त्री ह
 वा स्या मं ला प रि क्त न म र्ह ति । अ र्ज यि त्वा ध न श्र व्म मा र्म ले रु धि क र्म निः । न त्व स री ति षिः प थ्या स र
 वि प्र न नि मं व य श उ प य त्रि स धा मा ह्या ना सि क त र वि र्द कः । द्या नि न त्प व वि र्दं ति स र्व त पं क्ति
 रं ध यि णा ह्य द्या री य द्य ता य वा ता ह न सान पि श्रा द्वं दि ङा य त्प व ना सि कः । आ त्मा र्थ यः प र

left

दूनदवातिषिकारणाशुनाह्यसावप्रिआइंपतिताउल्लसकमः॥श्रियापकासुराव्यर्मा
 ॥शिविप्रोमउपल्लस्यशिरंदिन्यःप्रदापत्यमहानारता॥अउलीयःकृतःश्रुवर्णीव
 म्परात्रात्राहंतिक्तने॥मध्यपुराण॥कृतप्रानासिकासहास्रमुदशनिवासिनः॥प्रिं
 नोनचिनाहेशाविकाहलिः॥गलवागीचगंडिमांस्टिनाश्चमकरः॥खंडतपर---सधा
 लकः॥यमपारत्रमश्मातिमऊंइपश्चउवृयं॥नवत्रयशुनिशितमऊंअशीपतटयाछध

middle

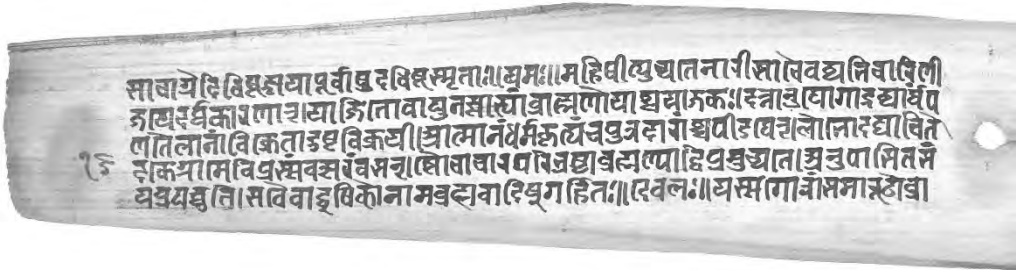
परिवासरताश्च॥अर्थकामरतायचनश्चाद्दुल्लाशयराभत्रिवरवितावनकविदिश
 रपविग्रहरावालयमव्वविद्यापिरात्रात्राहंतिक्तने॥अपविस्तनप्रकीर्णगणप्रवीथनारतायु
 कुर्वरात्रंअनयच्छूचनिवासिना॥कलीटकीसधाकीर्णकलिहोश्चवित्रर्जयरा॥वृत्तपुराण॥नो
 विहीरीरागिलःवधात्राताविनकाद्यथाविनाप्रप्रदीडिताः॥दवलः॥परदरातिस्मामाहासु
 स्यनायीसंप्राप्तमर्द्धकामादिशुपतिः॥मउः॥त्राउमृतिमनायीयात्यात्रत्येतकामतः॥मर्म

right

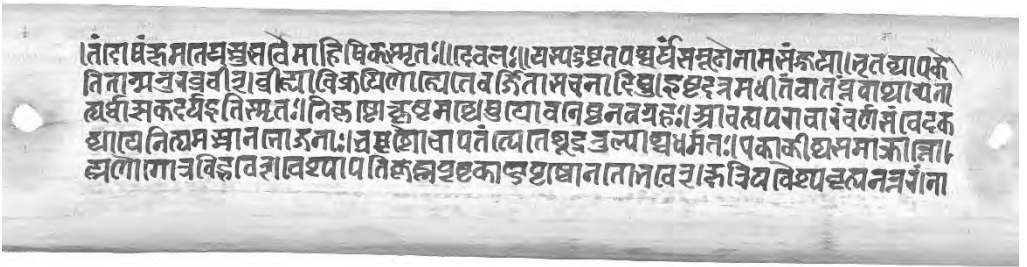
नमानिनः॥अयक्रयतत्यानामलक्षंसंतिनत्रारुः॥शुंशेडिलकाधायोत्रादियात्रसुवर्कय
 त्रिकाधुवप्रक्षुश्रुआहनाहंतिक्तने॥भालकरीवत्याशरुयथ्यवाहंभिल्लादिजाणविक्रयपात्र
 कुंघ्राहसुनाहंतिरन्योपहतवतसः॥मक्षाप्रलश्चऊणखखद्यायदत्रारागवारस्यावर्तंतिप्रति
 कालात्रारउद्यातामपात्रापयतिह्रिवायसदासंवसेहृहाजीवलात्रात्राकुडिहृतनर्त्रिणा
 णापिनिमुक्तायांमविकेवाविप्रतिः॥लोगाहिः॥छिष्टायायद्यत्रयायाकयायाशुह्यतउडा॥

Folio 16 verso

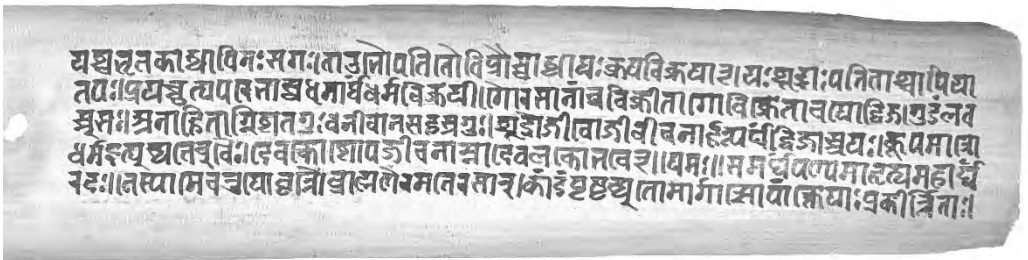
left



middle



right



left

॥ हारीतः ॥ यथाऽपुत्रास्ययं नृणां तन्नीतकास्तुताः ॥ अखिलमेव विना योक्तृकास्तु वृद्धान् न संश-
 तिः ॥ इति रागपविषादकाव्यायनः ॥ यस्मात्तथाभिमानस्य देवादीनि विविधवाद्यानि भक्तनीमा-
 तस्य धार्मिकीयमविनागास्तु विविधा त्वत्सामाना ॥ कपालशकमाधीमान्नायि ॥ यथा विपर्यये
 द्विमाह्वयमवाहकः ॥ इति मस्य वरानावहवापारण्यदाहिनः ॥ रात्रौ कौवातज्जशकः ॥ यंडः ॥ की-
 र्तिना नायवेऽस्य श्रीवैलवायनामतः ॥ यमलिगाधघट्टस्यात्वेऽज्ञानमहिनः ॥ यमधा

middle

निरा
 यः ॥ यमः ॥ अकलं च प्रतः कृत्वा व्यापेपुः कलं च कृत्वा तनः ॥ यवितनासौ कोऽपु वृद्धति स्मृतः
 नादीनामविरुद्धा कृतिः ॥ इति रागपविषादकाव्यायनः ॥ यस्मात्तथाभिमानस्य देवादीनि विवि-
 दितीयस्यापि यथा नृणां त्वत्सामाना ॥ इति रागपविषादकाव्यायनः ॥ यवितनासौ कोऽपु वृद्धति स्मृतः
 त्वामपु मेकः ॥ कीलकस्थितिः यथा विलोचनं विना विना ॥ तयोऽपि उल्लेखः ॥ श्रीधर्मवैष्ण-
 वीयमाजीवानेष्टपतानेष्टकाः ॥ कीलकस्थितिः यथा विलोचनं विना विना ॥ तयोऽपि उल्लेखः ॥ श्रीधर्मवैष्ण-

right

॥ इदं वलः ॥ रागपविषादकाव्यायनः ॥ यस्मात्तथाभिमानस्य देवादीनि विवि-
 द्वादाः ॥ निभक्तनीमादीनामविरुद्धा कृतिः ॥ इति रागपविषादकाव्यायनः ॥ यवितनासौ कोऽपु वृद्धति स्मृतः
 इत्यमो वषट्पवहायवाऽपि रागादीनामविरुद्धा कृतिः ॥ इति रागपविषादकाव्यायनः ॥ यवितनासौ कोऽपु वृद्धति स्मृतः
 काने (वरा) पुमांस्तु त्वत्सामाना ॥ इति रागपविषादकाव्यायनः ॥ यवितनासौ कोऽपु वृद्धति स्मृतः
 संव्यासपद्यानामविरुद्धा कृतिः ॥ इति रागपविषादकाव्यायनः ॥ यवितनासौ कोऽपु वृद्धति स्मृतः

left

अज्ञातानां पतेस्मन्तं वत्सवा विनिर्गतं वित्तं नव हिंस्रमया वशाद्वकर्मणि॥ यमः सा
 म्रतः॥ आरुखवाता ऊनमा ममापाना वृत्तिर्न विता हिंसाः विज्ञेनियतात्मानो विअदानवश्च
 क्रान्त्या यः प्रकृता वराः॥ देवतः॥ प्रवर्तिर्न विता यः यश्चिदा यत्तियहे उकाहोरो
 स्मनस्य विदुर्मतिः॥ हाशीतः॥ देववायुदिव्य पितृनिर्मं च वत्सलपदितः पितृवत्तयवा
 तिययाति॥ यमः॥ आमवित्तस्य द्वा द्विअर्चनं वृत्तिहिंसाः तवतिपिनवस्य तं मासं पौष

middle

वृत्तिस्मिन्निर्मं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः
 हास्यधीतयः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः
 पितृनिर्मं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः
 यनसतस्य फलं तनेशः पमादा हिंस्रमं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः
 नाङ्गनाः आमवित्तस्य द्वा द्विअर्चनं वृत्तिहिंसाः तवतिपिनवस्य तं मासं पौष

right

धीपद्यलः॥ हाशीतः॥ आमवित्तस्य द्वा द्विअर्चनं वृत्तिहिंसाः तवतिपिनवस्य तं मासं पौष
 रत्नेन यत्तिग्रीवाः॥ मनुः॥ मनुः॥ कवित्तस्य द्वा द्विअर्चनं वृत्तिहिंसाः तवतिपिनवस्य तं मासं पौष
 मवान्नातिश्रुद्विपानो वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः पितृनिर्मं च वत्सलपदितः
 तत्फलमात्रं यथा मनुः॥ निमवित्तस्य द्वा द्विअर्चनं वृत्तिहिंसाः तवतिपिनवस्य तं मासं पौष
 वित्तस्य द्वा द्विअर्चनं वृत्तिहिंसाः तवतिपिनवस्य तं मासं पौष

Folio 18 verso

left

१८ द्विआद्यामं ऊत हि जः॥ नवंति पितरं सस्य तन्मा मम निर्वृताः॥ अमं वितस्य यद्वा दिकल हं ऊ
 वुः अस्मात्ता वा लोणा राऊ सस्य तवाध वायुते॥ उल्लुगणे॥ अमं वितस्य रं निव ऊध्या डिप्रः क
 म्य त उयस्य ही ना रा म विता स्थि वा॥ हारा रीतः॥ अत्र तत्तु कृणा दिधि गत्वा र कृणा प्रलता स
 लोका ऊयति थ कस्य उम हात्मनः॥ गा तिलः॥ बलि उय मूल लनाः॥ पितृ स्या स्र धाम लान स
 क पव वा का सा ऊया वज्जु जा म्य त धात्ये ती क्ल रा म साः॥ मो र्व व शा मूलं विव ष नी प रि की

middle

रुति हि जः॥ नवंति पितरं सस्य तं मां मल ताऊ नाः॥ तस्मा त्रि मं वित आ दे त्रिय तात्मा न त्रि हि ऊः॥ अ
 वं स ना त्र व ता नो यि ह लो रा र त्र स्य वि व हि॥ वि र का ली त त्रि हा मा य त न का मि ना॥ तस्मा त्र द हः
 स म्ब ला र्मी ना ह व रा अ प रि ट ही ता आ पः॥ वि स्रः॥ न न कं ट ही त ता र क न आ दे ऊ ध्या र ऊ शा
 क ह ल स वा सी र व लु र सु त व ता ल उ उ व र्क ने त्रि ला नि॥ बल्य पु रा णा॥ ह नि ता थ म पि र ला मि याः
 त्र ताः॥ आ द्र व द्या व य त्र न स ल पा म ग व श्काः॥ उ प म ल त धा ल नाः॥ व स ना धि कृ णा त्र माः॥

right

प्रक्षनः स्यात्पराः सत्यवादी जिते द्वियः॥ महानाराता देवं वा वरि वा यि यो वा प्री या डा ल ला दि
 सु वि र का य त्र रि ता प्र म त्रः सत्यवादी स्युते॥ अथ मि व न अ मः॥ आया या व र्क य रा आ वा ह ना दि वा
 ना त्र कृ णा स्या नि का स ह र्वा र द या रा य मः॥ स मूल सु त वे र्मः॥ पितृ णा आ द क र्म णा मूल ना
 उ धा स मा हि ताः॥ गा क र्ण य पी अ ऊ रा म कं वु नो य मूल काः॥ पितृ ती र्थ न द या व ह वा स्या मा
 त था उ र्जा आ द्र की र ऊ शा व स्र जा गं ध की त था॥ वि र णा आ च पा स्थि व न आ व धी ध नि य थः॥

left

॥हारीतः॥कृतवधूकमीलःमधीवालहृदासुनिमिताःशुभयःशुभिवामसाधुः॥य
वकिरत्रवसवतावेयंयस्कार्यःअश्रुतापहतमर्वतिलःशुभ्यत्यजमरः॥तोतात्रवसमसा
ताइसुवेदद्याद्विद्यारवतिप्रवर्कःततःप्रात्वानिशत्रमःप्रसुद्यायकृताश्रुतिःपाद्यमा
त्रणउमंडवाकृतानिःसपुष्टानिमरम्यचिचिमद्यवत्रिविधालाकालायसादात्रा नि
वद्याद्याद्यकवाक्युःपितृणामतदीशिवशंखलिखितोपयतापराह्णशुचिभक्त

middle

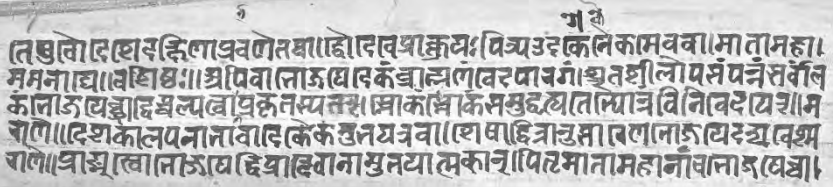
मः॥रकिणाप्रवर्णप्रिष्टविविक्तप्रमलकणंशुविंदशंपरीकाशुगामप्यनापनेपयशः॥द
रनिवकथंनमस्तुवरात्वापयममृद्वयधाद्यक्षपकल्पयेशततानिहत्रमद्याह्रिचम
चमनीवमप्यवृष्टिवाक्यम॥मध्यपुराणे॥उदपात्रकास्यवमकणंममिहशाराश्रहरप
नयपुनःपुनः॥यमः॥पाद्वकालनेकधीसुयमवविनीतवशतनस्त्रिद्विमितेषाद्यकलि
वासाश्रिष्टुतिष्ठमागतमितिव्यापयाद्याचमनीषादका निरत्वाबोद्धलाप्यमथ्या॥

right

वलः॥तत्त्ववयवितोदाताप्रातस्सुहृमहाश्रमःअरानतनवेःपावित्राश्रमंवावलेःतिलान
रामनद्याद्विज्ञात्रात्रनिगम्यधामार्गप्रयासुहृत्रकवनरातिलसुहृतेनमानीयेरुषधिश्रपावे
मद्यनसर्वशक्तिःशान्तिः॥पवृमासाद्यतस्वर्नवनस्यातातुविागामत्येनातुलिप्रायावापू
तिष्ठासनपुचःअमधमितिताव्यादीमनेमसृहन्नादिदक्षिणाद्यासमीरवस्पृष्टाधुःप्रस्यरा
पवद्यायरासनमद्यालयाः॥योहवच्छः॥दत्वयुग्माद्यवशक्तिपिज्यसुग्माप्रववचापरिधि

Folio 19 verso

left



left

मिषदक्षिणासुखयुक्तानिपिहणामासनामिषदक्षिणासुखदर्शनापिहणितानिपिहो
 तशिताः पादसाधिविषाणां यत्तन्मयपुङ्गवताः हारीतगाविद्यातपाविकानां विप्र-
 लिनरीयकाः अविष्मिनामसादयासुखरकाश्चविहिकुम्भादेवलाययत्ररुयतक
 आहमारकवर्जिताः तस्यालनायविहिताः विष्मदेवाश्चयुवाकउर्द्विहिवसुसम्यक्का-
 पुत्रवाद्याश्चवधवार्वणसमुदाहृताः उरत्रितामविलेखानविहयैहिकतयः श्रयसुखा

middle

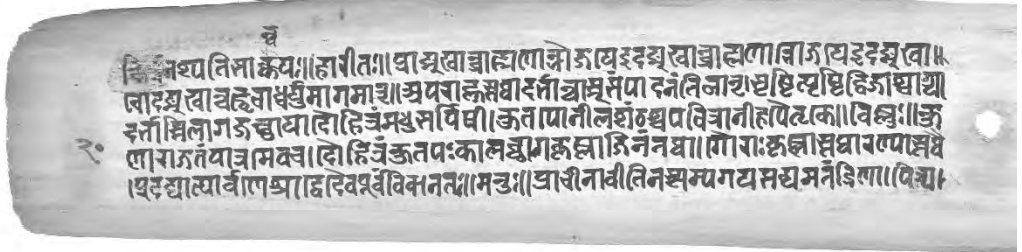
रकिगायमगाः आसनेकृतपदद्यादितरत्रापवित्रवः॥ महानारत॥ अवास्यामहाप्राज्ञविप्रा
 प्रमासनेसुद्यातमतिष्ठमानघहंसुद्यानहोयासनेअयशकृतिममलेषाकशयषाचवि
 मयितकवाह्यणाप्यनातसर्वतत्रकर्तव्यविष्मदेवतापूर्वक॥ मनुः॥ तत्रामासकृततत्रपूर्व
 लः कामसविचारावनिष्मारावनसिबतयाविषपुत्ररवाः आइवधरलोतत्रविष्मदेवाः पका-
 रणीयसिष्माकप्रहाममवितिः॥ आगच्छमहानागाविष्मदेवावरयुद्धाः ययत्रविहिताश्च
 ३

right

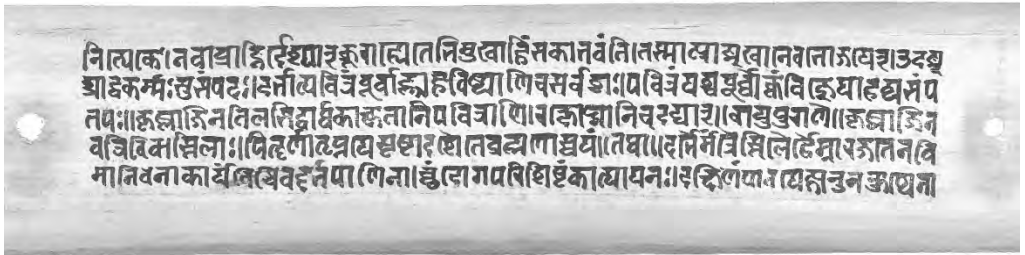
नानाप्रकृतिरारक्षिणाहन्त्रिकासर्वाहवीश्वयम्बाकलाशरक्षिणाशंसतादद्याविष्टतपुनि
 युष्टानां बलपुत्रालातत्रासनामिदद्यानितिलानिचक्रसिम्हाष्टयसृष्टकाशानश्रुतिले
 तिवेनोयाउषराहहस्पतिः॥ पिशाचाराकमायकाचतानानाविषमयाविषलुम्भत्रिसहस्र
 त्रिताः॥ तद्विद्याहिकुर्द्वैकमेवोनोरीसुखवसुः॥ नमित्रिककालकाविक्कास्यरश्निचाचमो
 द्विमावमनानवैचुल॥ मनुः॥ देवाद्येततदेहीतपिवाद्येततद्भवः॥ पिशाद्येतत्वीहमानः॥
 ४

Folio 20 verso

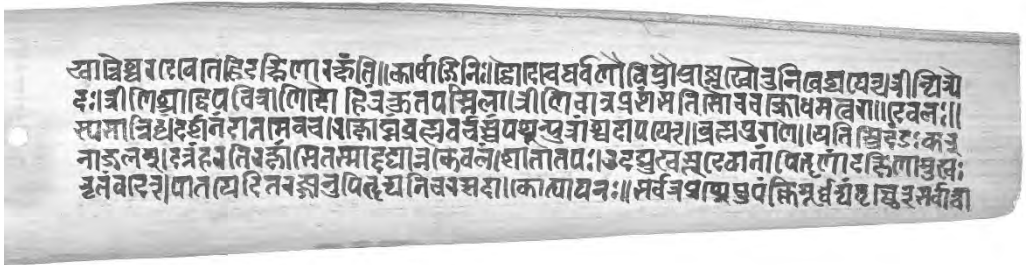
left



middle



right



left

॥ मउ॥ नाश्रमापातयस्तुनकुप्यनादृतं वदयनपादनस्य द्यदन्नं तत्तेवमवक्ष्ये यथा
 मः ॥ कुकुलविहाराहश्रुकाकश्चासविडालकुं वृषलीयति श्रुतमलः पदानारी वरुसुनाः ॥ प
 द्याययाह तितेष्टाष्टष्टिणउरुसलाखेनकालकुलिष्टित्रीदातुः प्रष्ट्यापियानवरा
 मकुर्ववर्कयराष्ट्रकालायमैनीसमलिनाश्रुवांसमाश्रयपयुधितं वापिआहृष्टु
 सयाहानायवैलडा ॥ मोनमः ॥ श्रुवडालयनतावकणेडष्टेनस्मायविश्रितदद्यानिले

middle

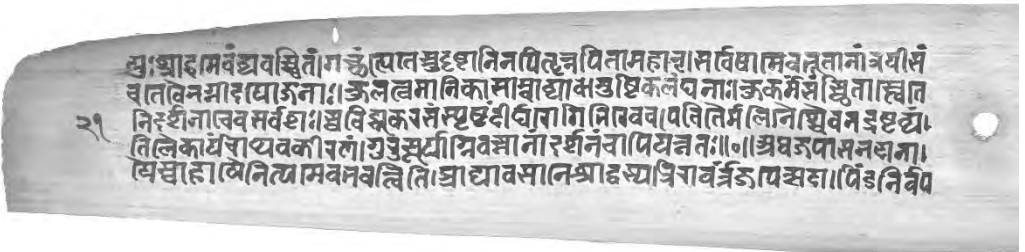
रीतः ॥ रतिरतिः ॥ सिलेर्दं रत्नीमध्याश्रुतदिवो विषिनावाश्रुतर्वणश्रुत्यपरिकल्पयशकं वना
 तानिआहकालउपरिवर्द्धानित्यथा ॥ कुकुलपकुवातनहतिआहममहवा ॥ आलोननिहमाहश्रु
 ज्ञानाद्वातिविष्ठाणासमाश्रुतिनयत्रतः ॥ हवलडा ॥ होनागपतिः ॥ कुलीवकमनासिका ॥ कुकु
 पविर्वर्कयरा ॥ मश्रुमः ॥ मद्यपः ॥ सिविलीतिवपरश्रुतीपतिमवा ॥ निवश्राहृष्टुवीरुवनापा
 कीविकतिरपेकिवावनावासमयराउशना ॥ विडराहमाडीवकुकुलनकुलश्रुवकुसुनाश्रु

right

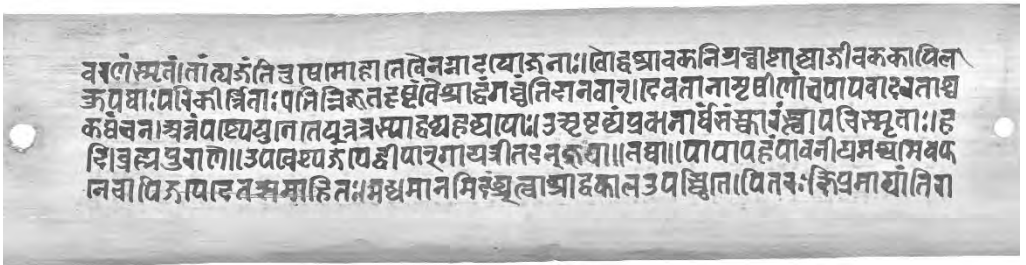
दिष्टुदनीद्येखंडव्यतिपाडिताः ॥ पिहणामकयायाश्रुतं मत्वामहामिनिः ॥ श्रुवापासनीयाः ॥ य
 वायसश्रुतनउः ॥ द्यउह ॥ निपातनमाडीवश्रुतनडा ॥ वृषलीपतिमदाननवकुत्याष्टमनवा ॥
 याः ॥ श्रुकरुशानोवष्टाश्राहृष्टमवैद्यावीनश्रुमश्रुविनश्रुमत्रैरुवकुसुना ॥ नीलेकाशायवसनैष्टि
 पात्यननेकुविश्रामहातारत ॥ उरुसुनावयानारीयमिताकणेत्यामवा ॥ निवीपातापतिष्ठत
 डीनत्रीरुश्रुहमयानतया ॥ विष्णु ॥ वयत्राश्राहमकुस्यवर्कयरावाश्रुपुराले ॥ नयार ॥ यानपष्ट्या

Folio 21 verso

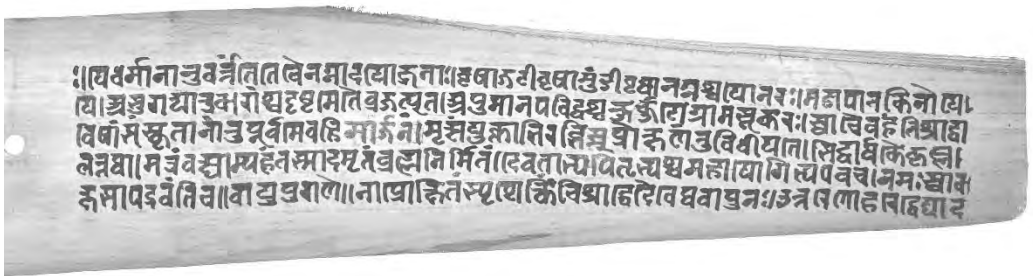
left



middle



right



left

किंलेनविमर्शयश्चातोवयनम्।अदकिंलउदयानावितृणामप्रदकिंलो।पितृत्वमउद्यालो।म।
रीपको।अपमद्यततःकृत्वापितृणामप्रदकिंलो।द्विगुलउकृशदत्ताउयानास्तृत्वा।सितृनात्रा
सुसुसुद्याद्वदिकनवावासात्ररेवाउप्रर्वद्वामप्रवमादित्वा।पितृपात्रनिमायाप्रत्युद्ध
हनामहयिष्यरुतिष्टुतिआवाहस्ययुद्धततउयानास्तृत्वायानावावाकी।संयत्र।अपि
कोष्टणाहिनः।आहतितावसात्रलो।इष्य।स्वह्नमणिमयानापात्राणामद्यततमध्यानिवा।

middle

वतः प्रहृष्टाश्चतुर्ः। यादवश्चः॥ यावेरुचकीर्ययनजानमप्रवित्रक। सन्नाहयायुक्किष्णा-
वाह्यतुङ्गानोऽपद्यापुनसवगयवार्थिभ्रुतिलिः कार्यः ऊर्ध्वराक्षिर्पूर्ववशदत्तापेक्षयासि
नतायासरा। कात्यायनः॥ आशानप्रदनीनासीर्थविश्रादवानोवाहयिष्टा इति पृच्छ्यावाह
त्वायसृष्टकमलपुपवित्राहिति। छलकम्पिप्रपत्रासिर्वतिशानास्वीति। त्यक्तिकम्पिप्रव
विद्यानप्रपुष्टाषुते। कनररातिसमवित्रपृहसिप्रयादिष्टाश्रयः पयमानैरुच्यीभ्रुति

right

घृत्वा नीतियवांश्च। आदिद्या इति मंत्रेण तदभ्रघृष्टं विनिक्षिपेत्। इदं गंधहृदयमभ्रदानं स
 धीप्राप्त्यर्हत्वा विमनतां पितृभ्यश्चानमसीति श्रुत्वा यत्र कालाय यथा मस्य धुराणां यद्विषयं
 यद्वञ्जाता विद्याद्वयं अस्मत्तत्त्वं नद्यावाद्यावकीर्ध्विभ्राद्वयं शृणुता। तस्मिन्निजं प्रित्वा पि
 तृलानां वपति। तिलो भित्ता मसद्व्यो ग्ना सत्त्वा इव निर्भेतव्यं नमस्ति इत्तं स्मिन्धया विहं नो
 क्राउतपां धिर्वीथी हि रण्यवलीय क्रियाज्ञानया पश्चिमासीत्यानां सुहृद्वानवन्ति तासां विहं

Folio 22 verso

left

२२ दसि। प्रथमपात्रमंश्रा-समवनीयविलस्यमानमनीयं प्रार्थनित्वा तत्र गंध उद्यम्य परी।
 त्रितोष तिलानां वपति। तिलासि जामदवत्यागाद्यावा दवने मित्रं पुत्रमहिषकृष्वद्या
 कृततपार्थिवीया। हिरण्यवर्णीयहिषाश्चानांप्रः प्रमत्स्यानां न वेदिति। त्रिप्रथा समवीध
 पत्रिचाश्चलायनगृहोपतस्मिन्काले गंधमाल्यवपरी पोदासनानां प्रदाने।। तद्वत्।। यथा
 तस्मादृषगत्यादत्तामत्रलुतिलोदकं गंधादकरातये सन्निकर्ष्यक्रमणवृत्तिगन्धान्नाद्यालसा

middle

पारीनोयुजने।। आश्चलायनगृहो।। आपः प्रदायस्महिषुलतमानासनं प्रदायापः प्रदायते रुसा
 पितृलोकोप्रीणा हि नश्चाहति प्रमत्स्यानतपयायुद्धं प्रात्रलोपवीति त्वाहकिंलानवासव्याप
 ता निरहिः प्रवका।। मोक्षस्वमनस्कि।। लाहवत्यधमे प्रात्रं तस्मित्यतामहं यासचाप्रतितामहेतता
 प्रविष्टासवीजानने कपीहि नृषलेः।। अयमभिः।। शतावाहैरुपवामात्रुलपतिः।। ह्युदागप्रविष्टिः।।
 इत्वाकमीप्रपात्रवृत्तं दद्यात्तिलोदकं तस्मिन्पृथगाद्यादत्तामत्रलुतिलोदकं।। गंधादकरा

right

शममयस्यायुषु त्रिषु पात्रेषु कडाव्युवादीन् त्रिंशत्प्रप्रदाय सान्नादवीरनिष्ठयस्य उभे
 गृहीतनपितृनिर्दत्तस्याहति प्रमत्स्याद्युभयत्रितः।। व्यादिद्या आपः पृथिव्या सवत्तवयी अत्रि
 श्यमानाहपत्रवालत्यरस्युष्टुहृतमयवनीतसु घटितत्रया।। पात्रं दद्यात्तुल्यायुपितचमैस
 काव्यायनः।। आशनाद्युपयंतं वा।। शष्टनयप्रतितां रुत्वाकमीप्रपात्रवृत्तं दद्यात्तिलोदकं।।
 तद्यसन्निकर्ष्यक्रमणवृत्तिगन्धान्नाद्यालसा इत्वापुष्ट्याद्युभयानिवाधपत्तवाउत्तयलप्रमोक्ष

left

यीरतः पर्वोत्तरवापयत्सं। वाचीनावीतीपात्राण्यर्णमिसदनीलिमतितात्पश्चात्तमरार्निधुनि
 तिवात्माणाश्चर्निधुपात्राणिनिर्मायापत्त्याः कथमस्ति तिष्ठान्दनिष्ठवान्प्रति। विष्णुः॥ आस
 मणावक्रेतामावास्यामूत्रमपेवक्रेताग्रहायस्वर्गकृत्वाष्टकासुवक्रेतामणिवधममधमा।
 त्वाहक्रेनयात्रिष्ठयश्चतावागिनियन्ममाततिरपाद्येनिष्ठयत्तवमवाच्यकृत्वा निवधमा
 मज्जकृत्वायषोपपत्रवपात्रसुविष्टाष्टाद्वृतमत्यधुनमाविष्मन्तोदत्तय इत्युमा

middle

सप्ततिष्ठतिपितृनासहयिष्ममीत्यामसासंतस्त्वयनयायनमानस्यपितरं पितामहंप्रपिताम
 आदिष्ठकाम्यवधमपेवक्रेतामिहृत्वापशुआहधुममपावक्रेतामावास्यामूत्रमपेवक्रे
 तमपेरक्रेवष्टकासुवर्गवत्सलाउसतःपितृणावर्धयत्सराइतिहृत्वा तिलेयाउसनिमिर्
 बुधनवधुष्टालेकावक्षयःशस्त्रात्रिष्टासमन्यधुआहियावमवदतिवीद्यामोकरवाणीत्युक्त्वा
 त्राप्राश्रयाद्वान्निवश्यरापितृपितामहायप्रपितामहायवनामागात्राद्याशुदंष्ट्रुत्वेष्टाष्टास

right

हं नामतिष्ठवात्माश्रयतृमपितरइतिरूपित्वापात्राश्रयउदिसंति। पितृवतात्रयंपितामहतात्रयमि
 नाग्रहायप्रवर्गकृत्वाष्टकासुवक्रेतामणिवधममधमात्रमपेवक्रेतामिहृत्वापशुआहधुमम
 नकृत्वापतहःपितरःसवीज्ञानमिमा। मयउपतयितरइत्यवाहनेकृत्वाकृष्टातिलविधिअलग
 उरुतःसविधिप्राश्रयेष्टावाहनेत्रयंदत्वायमामकापितरपतहःपितरश्रययहइतिवर्त
 लित्वितो। अपसंधंवासायहपवीकृतकृत्वातिलिरयकीर्षमवसुवति तिलोक्किअपात्रप्रदकं

left

इत्युद्यमियत्कादीपं हर्षं निवराय रात्रिं गलनं सर्वं विनित्य गंशु तं इदं वा माल्य
 उल्लेखं वा शुद्धं तोला कापितं घटनात्पितृसदं नृपानमसीति वा ततोऽप्युपावृष्टमावि
 वीपितं निरुपापात्रितोयमत्युपुराश्च वीर्यं तं वत्समात्रं तस्यः प्रियतरं मद्यातोऽप्युपात्रे
 फलपात्रं तं पदं अतर्कं मदारयस्व त्वामतिमात्रं तं विप्रपात्रं तं वृद्धिं वीर्यमायुः
 वि। कलजाया कायविदद्यात् त्वमात्रं तं दीपार्थं न दद्यात् कीवर्जं तं सर्वं नष्टपात्रं तं द

middle

मित्युक्ताद्यान्माल्यं सुहातनं। अतर्वं नृपसर्वं कं क्रमानिष्ठानि वा विलपनात्पितृदद्यात् तं।
 मानिष्ठानि त्विह रपूर्ववाद्यार्धं कुरुमादिनिः। तयाश्च तं अतिवशीनि विवृणुतं कमीलासा
 लपाद्यानि तस्मात्प्राप्तपिकारं यथापात्रं उच्यते तं सर्वं नृताशिपाने त्वरादत्वाद्याधपा
 वाप्रद्यात् तं अथ पद्मं दत्वा सुनीनो वल्लभान् त्वरादि। कुरु मधु तं त्रायं यथासंनवपववा। प्र
 नृकर्षरायुः सकाशं लपनाया। हा त्वं। उपनीतं कठिणत्वात् कपीज्ञा तालेयतोपकगमा

right

घाद्यपितृवत्तनं। तया। तं पदं त्रयं वा त्रिपुल्लभाणि पुत्रं तं। पुत्रकामाश्च तं पश्यन्तं वृद्धी
 वृणीतं सुप्रियाभ्यस्पर्शिकं तं त्वं कुरुयः। तन्ना नपि निर्याद्यानि पात्राश्च पितृकर्मणि पिबि
 त्रिपुल्लभा उर्ध्वं तिलं तं रात्रिं काशमरीपात्रं तं पुण्यं लान्दमः। साताग्यं राघमाक्षे
 मगल्यं तं नृपकायेषु वृद्धी यरावर्गं पितृवत्तनं। त्विह। उपनीतं कठिणत्वात् कपीज्ञा तालेयतोपकगमा
 अद्याज्ञाया निराशाः पितृभग्नः उपनीतीततः कुर्यादतश्चादत्तं लपनं न निष्ठु कश्चिज्जा

left

ताद्यर्थानिवा। समहकलनप्रत्यंसमकामसमचित्। चंडस्यवृतंदिष्टविमानंनततकयो। अ
 लनिःस्रनिःप्रसृतेः। स्रवक्राद्येतसततेहिमानावनिः। अश्वदानमहाअलर। घदानघात।
 यन्नितदयैत्राणि। निरुक्ता। अमिहंसर्वदेवत्येयवित्रासामपायना। शनेहिजीवितस्या
 नाप्यामवच। पात्रेतिरुसंदद्यामना। शैश्चाक्षलाकनिः। पात्रेनवतिकामानोविद्यानोचयन
 च। इधना निवत्यादद्यादिल्लन्यशिवरागामानित्यजय। निस्रामाप्रियायुक्कृष्टदीयातासु

middle

सप्तानिःपरिहृतकामगंडमानाकृतं। वसेत्रिमविमानायेस्यमानःसमंततः। शिष्टोः। यथाः। य
 नवा। इतिनोचसहस्रलायागिघावसु। यानरः। इद्यात्य। वित्रायागिद्याहाउवारणमस्रभअश्व
 हरीमानापरमंबुधः। लवणनसुप्रह्नीनिश्चाहपात्राणि। दापयेत्तरसासुपतिष्ठति। निह्ने।
 स्युः। राकृतंकाचनतिवदद्याद्वाहस्ययः। उमाशदत्तासलत्त। तदानंगावसुप्रतिष्ठति। गवाधु।
 रमो। लिउमाना। निगंधंति। तस्त्रिवा। प्ररथिताउपात्राणि। आहमकृत्यदाष। यश। गंधवाहामहा

right

निर्वंतिर्लर्हृष्टिनिवत्त। गंधवीस्यरसमत्रगार्थनिर्वीदयंतिवा। कथायुवतिनद्यश्चासितानर
 निष्कमहसंफलप्रप्तिमानवः। दीवितस्यप्रमादादिनाय। शनेविशिष्टता। तस्मात्सर्वप्र
 सोनाग्यामवच। तिलानिह्नेसुधाताद्ये। आहमकृत्यदाष। यश। मित्राणि। नूनतलो। के। अश्वि
 छिप्र। विवच। इद्यासु। शिरामस्यमिदंकाष्ठयनतः। कायाभिदीप्रिपाका। शपसोनाग्ये। पमव
 नद्यसुखानि। विविधनिवादातायुयतिष्ठे। तिसुवयस्यपनिवताः। शयनासनयाना। निजमिणा

Folio 25 verso

left

वाहनानिवाह्याहस्यता नियाद्यादद्यादधमधकलंलनरादध्यप्रथंवाद्याद्यादधमधकलंल
 नरादध्यप्रथंवाद्याद्याद्यादधमधकलंलनरादध्यप्रथंवाद्याद्याद्यादधमधकलंल
 वसन्माहस्यदनिस्समवाहनिसंवाहनिःप्रथमतयापिधनिवाद्यिधवर्तितवर्णिकाशयपत्र
 २१ कराःइत्यादिप्रातिपिप्राप्तानाहुयित्वाद्यद्यादिप्राप्तानिधुदकनसुवाहुयस्य
 स्यामिवातस्मादप्राणिदद्यानिध्याहकालविषयतः॥तथा॥राहुतेरुताकिंवापितृणीपात्र

middle

नरादध्यप्रथंवाद्याद्यास्मतिमर्कचविंदति।मर्षिधुलीनिपात्राणिध्यादधमधकलंलनरादध्यप्रथं
 नवमध्यातः॥प्राप्तानामतडागानिधुदकनसुवाहुयस्य
 लीतद्याप्राप्तकस्यराशयिनिष्कामर्कचप्रवर्णीयुगलोमिकाःइत्यादिनिध्याप्राप्तानाहुय
 यत्फलं।वद्वानापीसुत्रयसुत्रात्वाद्युवासतिष्ठतिनृतानितमसृष्टिदयधवात्राहुतचत्वा
 सुचातरुतेसस्यकधीवापिउसन्नरीनामवचात्रनेतमकथेयर्थगुरुतेदानसुचाता।वसन्धुनाल

right

पलाहत्वरनावह्नीताफलमाश्रिताध्यादद्याधमधकलंलनरादध्यप्रथंवाद्याद्याद्यादधमधकलंल
 ध्यादधमधकलंलनरादध्यप्रथंवाद्याद्याद्याद्यादधमधकलंलनरादध्यप्रथंवाद्याद्याद्यादधमधकलंल
 त्वाद्यद्यादिप्राप्तानिधुदकनसुवाहुयस्य
 मानाग्रनद्विधिवचंदमाः।वासाहिमर्षिदेवत्येवदेवत्येतिष्ठतिवध्यातावकिंयानासियहावहा
 ।मगलानिचकाद्यानिवातेधुलीकथुनिः।गात्रमृत्रिकयोवापिधुलीतानाघतस्मना।पात्रा